

Global Innovation Strategy 2.0

STARTUP
&
SCALEUP



Global Innovation Strategy 2.0 STARTUP & SCALEUP

CONTENTS

戦略 2.0 あらゆる挑戦者とともにイノベーションを加速し、豊かな暮らしを築く	P. 3
Executive Summary	P. 4
“Global Innovation with STARTUPS” (2022年11月～) の歩み	P. 6
スタートアップ戦略を加速する	P.17
戦略1.0で取り組んできた40の施策に加え、新たに戦略を加速する26の施策を開始	P.25
グローバル×スケールアップ	P.26
裾野拡大	P.31
官民協働	P.33
プラットフォーム	P.36
Appendix	P.42

戦略 2.0 あらゆる挑戦者とともにイノベーションを加速し、豊かな暮らしを築く

挑戦者が生まれ、世界から集まり、そして挑戦者を応援する東京へ

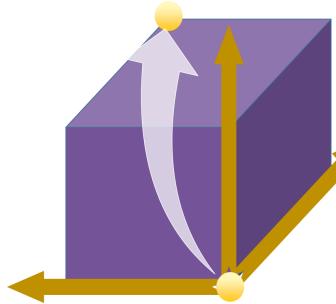
スタートアップ戦略「Global Innovation with STARTUPS」（2022.11）策定以来
5年で10倍という野心的な目標「10×10×10のイノベーションビジョン」に向けて
“みんなで創る”を合言葉に、多くの関係者と議論・試行錯誤しながら、歩みを進めてきた

都政の様々な現場でスタートアップとの協働が飛躍的に進み、起業の裾野が広がっている
グローバルに挑むスタートアップも生まれ始めた
東京と全国、世界を繋ぐプラットフォームが整い、官民の垣根を越えた連携が深まり、
そして、世界中のプレイヤーとの関係が構築されてきている

世界の変化と競争が激しさを増し、AIの飛躍的な進化が社会の変容を加速する中、
第二段口ケットに点火し、戦略が導いてきた流れを確かなものとし、その取組を加速する
優れた“スタートアップ”的な“スケールアップ”を大胆に支援する
スタートアップに加え、大企業、中堅・中小企業、大学・研究機関など、あらゆるプレイヤーの参画の下、
人々に幸せをもたらす技術や文化、価値観など、日本の強みを活かし、
世界に浸透する“グローバル”なイノベーション創出を推し進めていく

未来を担う若者、子供など、あらゆる挑戦者を全力で応援し、
持続可能（Sustainable）な社会の実現、そして、都民の豊かな暮らしにつなげていく

Global Innovation with STARTUPS の歩み



10×10×10 のイノベーションビジョン

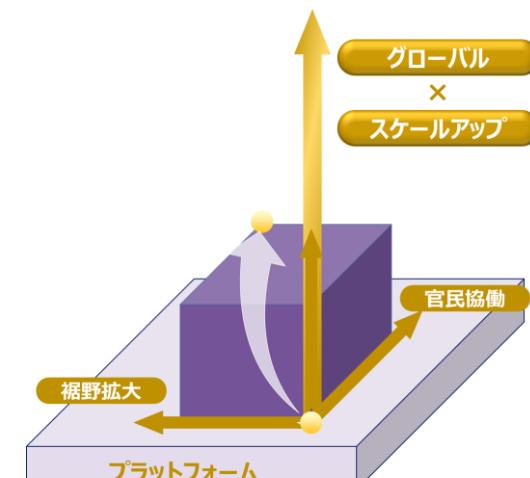
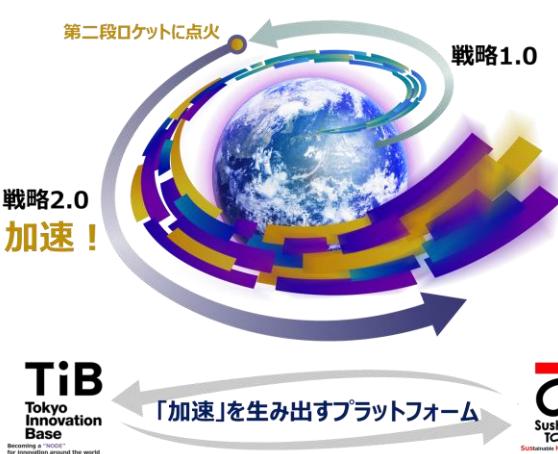
	(22年度)	(24年度)	
官民協働：都とSUとの協働	9	252	× 28
裾野拡大：TSG参加者	1,100	4,000	×3.6
SU創出数	600	770	×1.3
大学発ベンチャー	240	340	×1.4
グローバル：ユニコーン	1.5	4	×2.7

- “みんなで創る”を実践し、TIBがイノベーションの結節点に成長
- SusHi Tech Tokyo→未来の都市を構想するアジア最大のカンファレンスに
- 学生・若者の挑戦の後押し、行政のファーストカスタマーの取組等が進展

戦略をバージョンアップ

- 世界の政治経済の動き、AIの飛躍的進展など、情勢は刻々と変化
- 世界の都市のエコシステム競争・共創が激しさを増す

⇒ TIBとSusHi Techの2つのプラットフォームをベースに戦略を加速する



戦略2.0 での新たな取組

グローバル×スケールアップ

みんなで、“スケールアップ”企業を大きく育てる

- ・世界に打って出る SusHi Tech Global
- ・ディープテックのイノベーション拠点を生み出す
- ・SusHi Tech Global Funds
- ・世界のエコシステムとの接続強化、海外展開推進



大企業、中堅・中小企業のオープンイノベーションを大きく発展させる
大学・研究機関発のイノベーションをビジネスに結びつける

裾野拡大

あらゆるフィールドでの挑戦を徹底的に応援する

- ・中高生によるアントレプレナーシップ実践を開始
- ・子供が挑戦する TIB KIDS を展開
- ・ITAMAE活動が更に成長
- ・SusHi Tech Tokyo パブリックデイは、イノベーションのわくわく感を体験する場に



官民協働

公共調達・ファーストカスタマーの活動を全国に展開する
スタートアップ等の優れた技術を活用し、社会課題をスピーディーに解決

プラットフォーム

TIBはあらゆる挑戦者を応援する結節点に (TIB2.0)
オールジャパンで相互出展、世界に向けて連携して発信
都内全域を SusHi Techのフィールドに。SusHi Techの理念を世界に輸出
イノベーション創出の投資戦略やエコシステムの新たな枠組みを議論

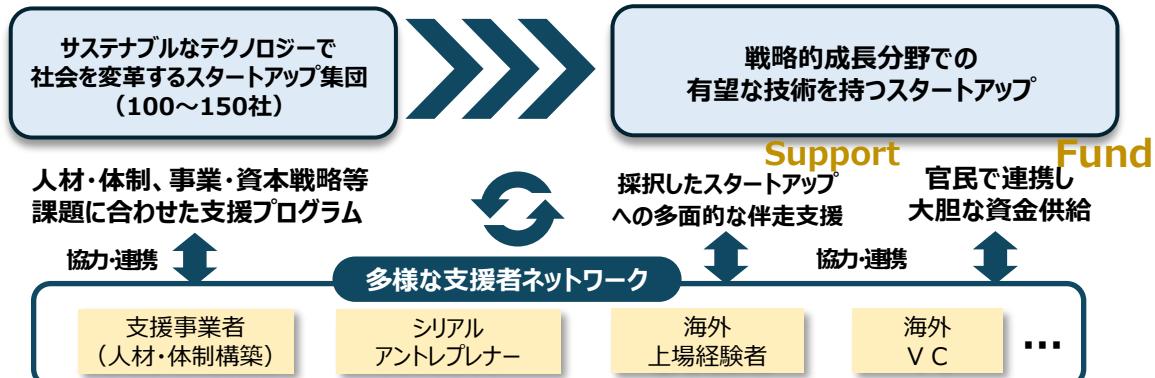


⇒関係者と議論しながら みんなで創り、みんなで進める

戦略2.0の「新たな取組」

世界に打って出るSusHi Tech Global

- 海外での大型プロジェクトへの集中的支援と大胆な資金供給
- 「みんなで創る」理念の下、「グロース期のエコシステム」を構築



⇒ 詳細はP26

あらゆる挑戦者を応援する結節点に：TIB2.0

- 多様な挑戦者が集まり、領域を超えたイノベーションが生まれる場に
- 都内全域をイノベーションフィールドにしていく



⇒ 詳細はP36

ディープテックのイノベーション拠点を生み出す

- 世界での大きな成長が期待されるディープテック・スタートアップのニーズに沿った研究開発環境の整備を加速

TiB
Tokyo Innovation Base

Becoming a "NODE" for innovation around the world



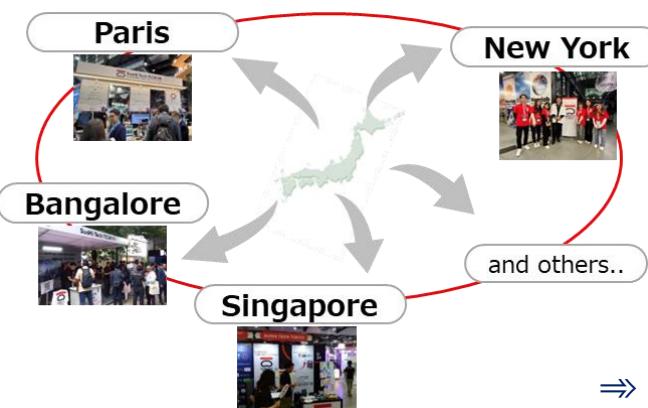
イノベーション拠点

TIBのネットワーク等も活用

⇒ 詳細はP27

世界のどこにもない、誰もが行きたくなるSusHi Tech Tokyoへ

- ビッグサイトの会場だけでなく、都内全域をSusHi Techのフィールドに
- “SusHi Tech” の理念を世界に輸出



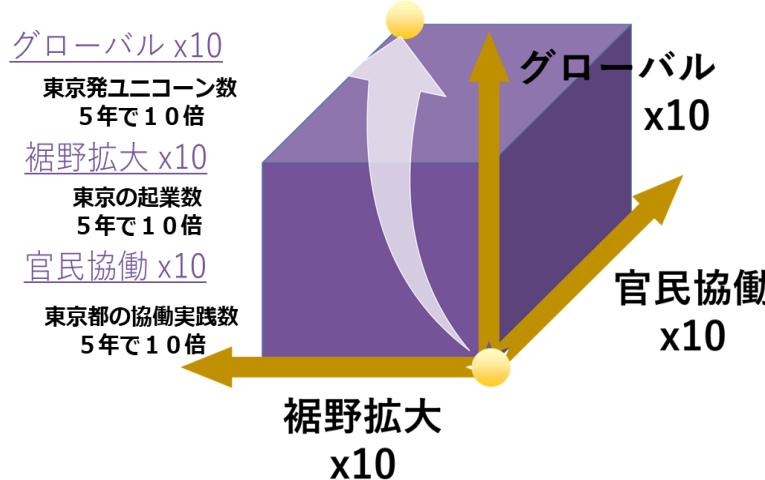
⇒ 詳細はP39

“Global Innovation with STARTUPS” (2022年11月～) の歩み

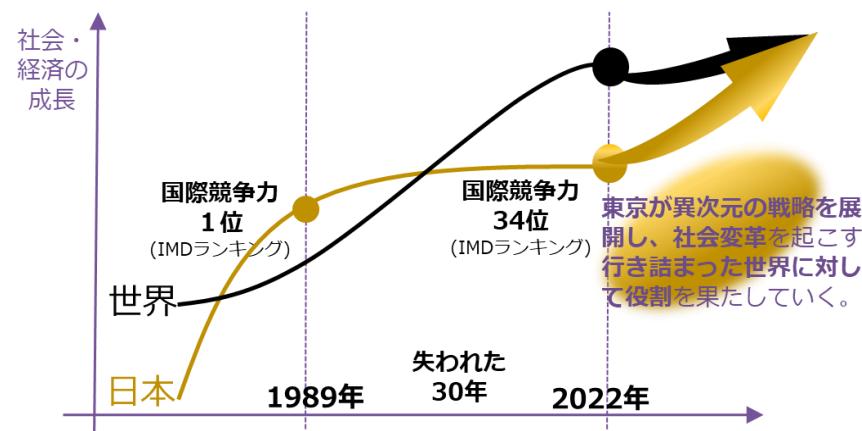
2022年11月策定 “Global Innovation with STARTUPS”

スタートアップの作り出す革新的な製品やサービスは、経済成長や雇用を生み出すとともに、人々の生活や社会をより豊かにする力は、新しい技術やビジネスモデルを有し急成長を目指すスタートアップを生み出し、大きく育てていくため、スタートアップ戦略を策定した

未来を切り拓く 10×10×10 のイノベーションビジョン



世界で再び輝くため、異次元のスタートアップ戦略を展開



挑戦者が生まれ、世界から集まり、挑戦者を応援する東京へ

<取組事項>

I 世界最高にスタートアップフレンドリーな東京にする

- イノベーションを起こす“場”を創出する
- 「挑戦」と「飛躍」を引き出す大胆な投資
- 行政が“ファーストカスタマー”となる
- 規制・ルールを“リ・デザイン”

II 誰もが夢に向かって羽ばたける土壌を作る

- チャレンジャーが生まれ、それを応援する社会を創る
- 世界を視野に考え挑戦するグローバルマインドを醸成

III あらゆる関係者が“ワンチーム”で強力にサポートする

IV 世界を視野に戦略的に発信する



東京のエコシステムは成長している

戦略1.0が予算化した2023年4月から「5年で10倍」の目標年次（2028年3月）まで、ちょうど折り返しの2年半（2025年11月時点）

官民協働：大きく目標達成。スタートアップ製品が都民の生活に密着するよう、更なる協働を進める
グローバル
裾野拡大]：着実に広がっているが、目標へは道半ば。到達のために、取組を強化していく

〈10×10×10 のイノベーションビジョン〉

裾野拡大

TOKYO STARTUP GATEWAY参加者数

約1,100人 → 約4,000人 [$\times 3.6$]

都内開業率（設立登記ベース）

6.3% → 6.8% [$\times 1.08$]

東京発スタートアップ創出数

約600社
(2013～2022年の平均) → 約770社 [$\times 1.3$]

大学発ベンチャー増加数

約240社 → 約340社 [$\times 1.4$]

グローバル

東京発ユニコーン数

1.5社
(2013～2022年の平均) → 4社 [$\times 2.7$]

※1年間で新たに評価額1,000億円に達した未上場企業数（「Speeda」調べ）

官民協働

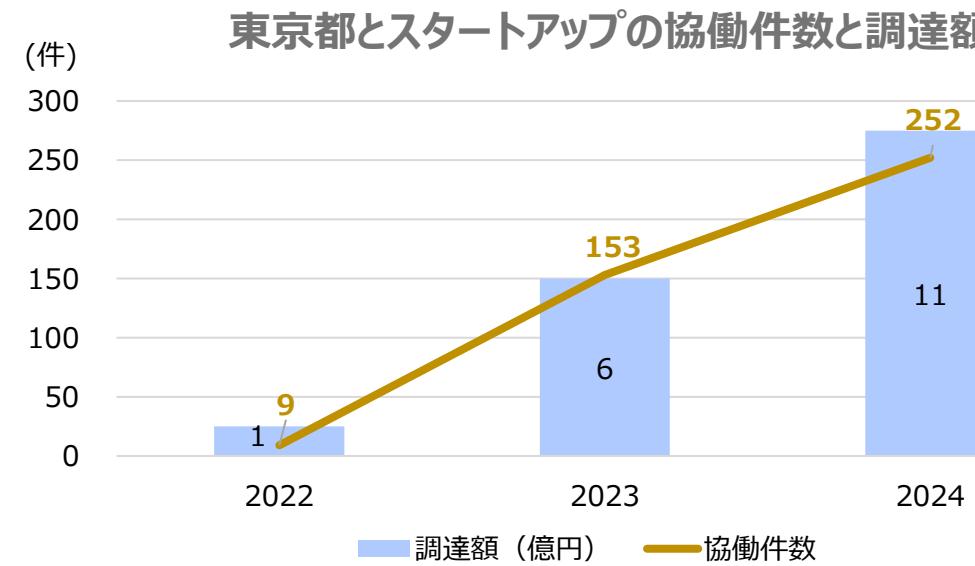
東京都のスタートアップとの協働実践数

9件 → 252件 [$\times 28$]

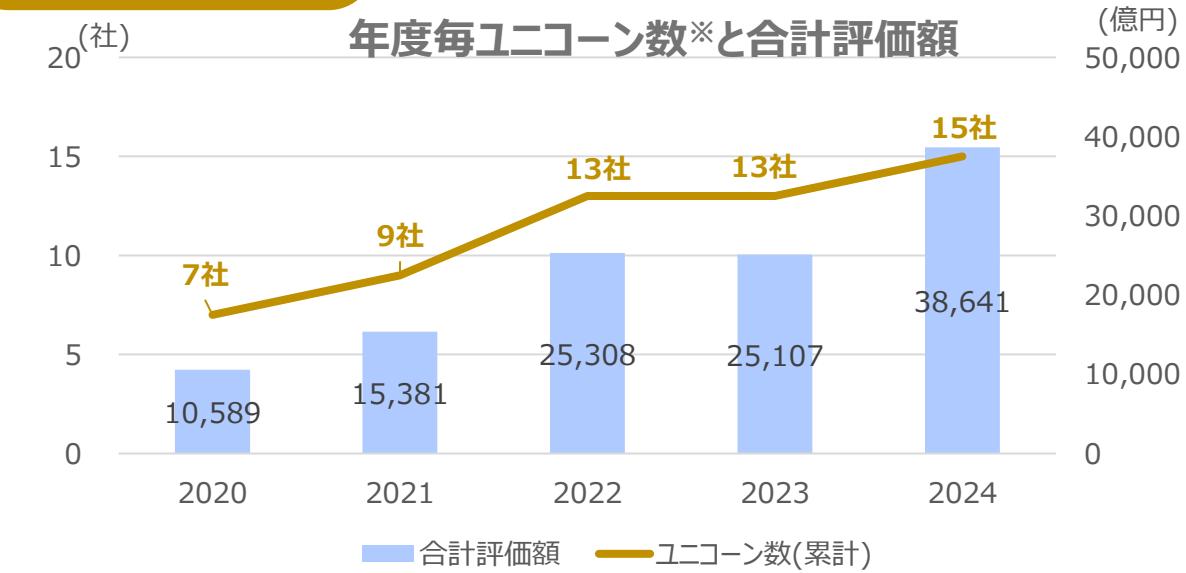
（2022年度 → 2024年度）



官民協働



グローバル



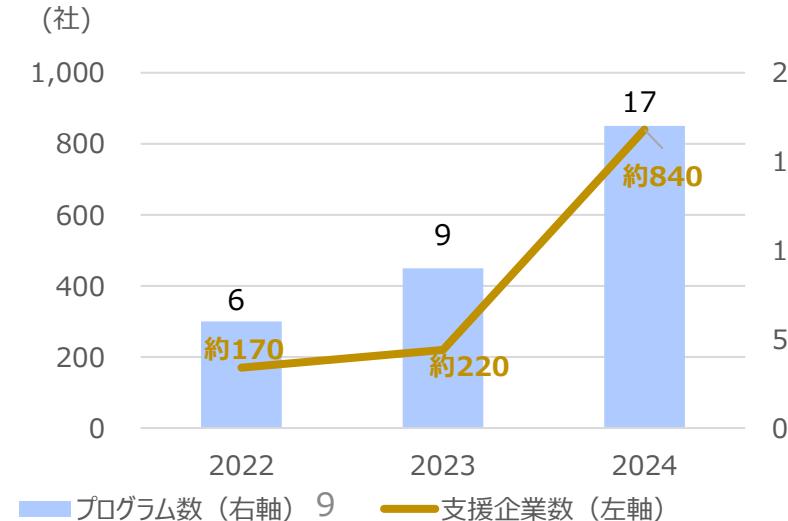
※評価額1,000億円以上の未上場企業：「ユニコーン」 「Speeda」調べ

裾野拡大

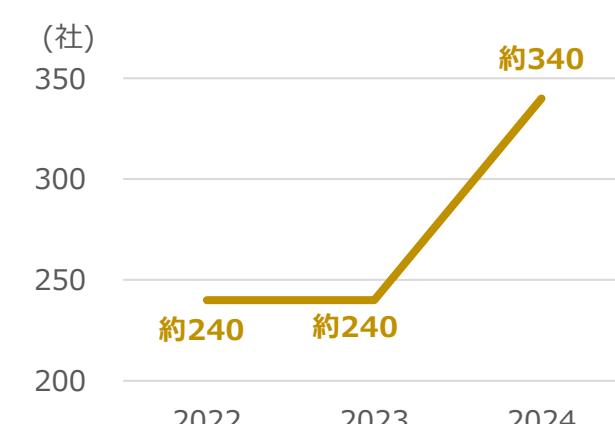
TOKYO STARTUP GATEWAY



都の支援プログラム数及び支援企業数



大学発ベンチャー増加数



出典：令和4,5,6年度技術開発調査等推進事業
大学発ベンチャーの実態などに関する調査（経済産業省）

TIBやSusHi Tech Tokyo を主な舞台に、挑戦する学生・若者を後押ししてきた

● TOKYO STARTUP GATEWAY (TSG)

400字でエントリーできる、若手起業希望者を対象とした国内最大規模のビジネスプランコンテスト等。2022年度参加者約1,100人からわずか3年で5倍の約5,500人に増加

2025年参加者：5,518人 (9月末時点)

〈2022年（約1,100人）比5倍〉



● TIB JAM

創造的なイベントや日常的な交流などを通じて、起業や挑戦に向けて繋がる学生コミュニティを形成し、学生・若者の主体的な活動を応援

参加者：延べ3,359人※



毎週水曜日学生が集う



多摩や島しょでアイデア検証



世界最高峰のエコシステムを訪問

● TIB STUDENTS

若者の挑戦を後押しする起業家等をサポーター登録し、学校現場等へ講師として派遣（サポーター登録数：323名）

派遣先中学・高校：52校、生徒約6,000人※

● ITAMAE

(Innovative Technology Academic MAEstro)

学生が主体となって、イノベーションカンファレンスのセッションやワークショップ、ピッチなどを企画・運営。SusHi Tech Tokyo では学生ボランティアが受付・誘導などの会場運営に参画

学生ボランティア参加者：延べ523人※



● 大学発スタートアップ創出支援事業

知の拠点である大学が集積する東京の強みを活かし、研究シーズやアイデア等の事業化を支援

支援対象大学：19大学

創出スタートアップ：29社※

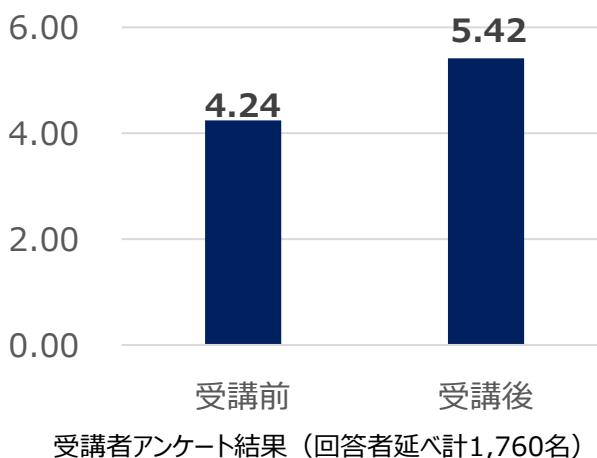
(慶應義塾大学、順天堂大学、帝京大学、電気通信大学、東京大学、東京科学大学、東京理科大学、武蔵野大学、武蔵野美術大学)



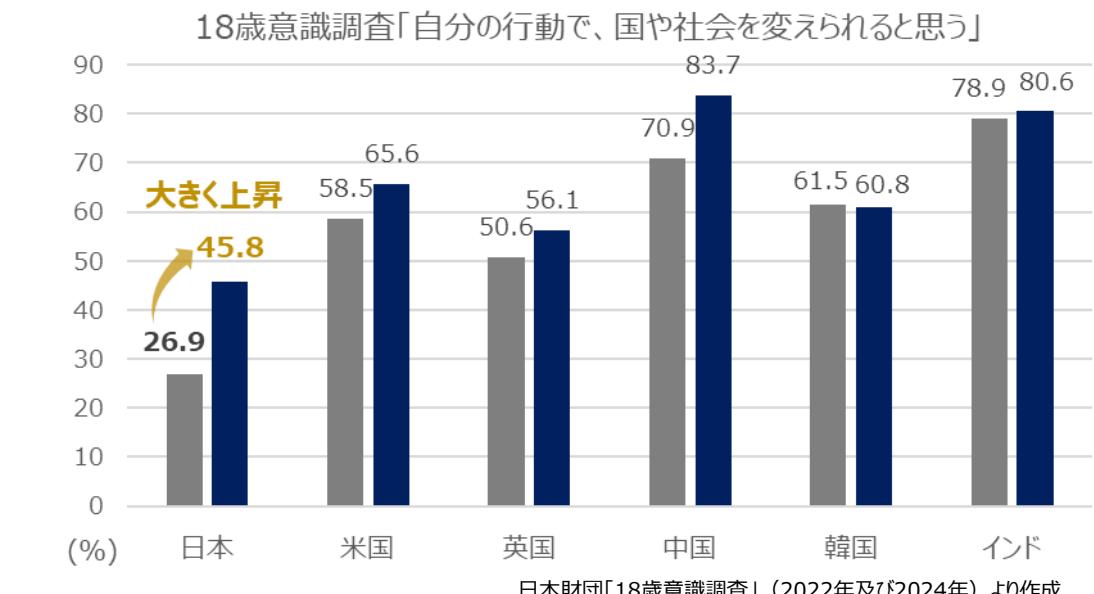
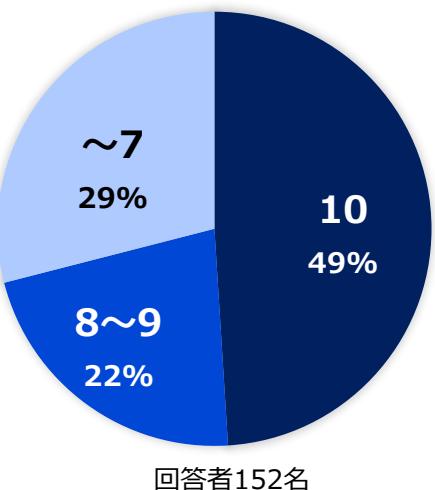
裾野拡大

若者の社会変革意欲が大きく上昇し、世界に向けて様々なチャレンジが生まれている

「新しく何かに取り組んでみよう」
「今考えていることを行動に移してみよう」
(10段階)
(2024年度 TIB STUDENTS 受講前後)



「グローバル」「海外で活躍する企業」の魅力
(10段階)
(SusHi Tech Tokyo 2025 ITAMAEボランティア)



TSG最優秀賞受賞者がグローバルに展開

2023受賞者:AI技術の防犯アプリ「SASENAI」で
X-HUBやAPT Womenの海外プログラム採択



2024受賞者:メディアリテラシーのプロダクト「レイのブログ」
は世界5か国の学校に導入



TIBの活動から米国で起業

TIBの学生コミュニティ“TIB JAM”に参画し、
仮説検証合宿やシリコンバレー派遣プログラムに参加した
繋がりを活かして米国で起業



ITAMAE卒業生がスイスのスタートアップへ

ITAMAEの活動中にスイスパビリオンに関心をもった
ことをきっかけに、スイスのアンモニア発電のクリーン
テック・スタートアップに就職し、活躍



都の支援で生まれた大学発スタートアップが資金調達

光量子コンピューターの商用機開発を目指す東大発スタートアップ
OptQC(株) 2024年9月創業、2025年1月6.5億円調達

都庁の各局でスタートアップとの協働が浸透している

● 現場対話型スタートアップ協働プロジェクト

都政現場が抱える多種多様な課題について、スタートアップと現場をマッチングして協働プロジェクトを組成、対話を重ねながら解決

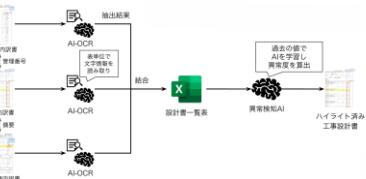
採択スタートアップ：延べ55社※

※事業開始2023年10月～2025年10月の実績値

(株)エムニ

オーダーメイドのAIシステムを構築し、業務の効率化等を実現

2023. AIを活用した設計書チェック支援
システムにより、膨大な業務の負担を
軽減（下水道局と協働）



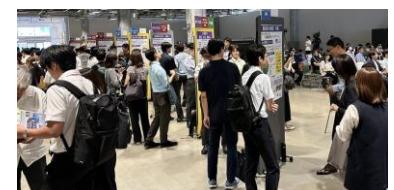
2024. AI技術を用いて、多様な因子分析が可能な水道料金収入の予測モデルを構築し、収入推計の精度を向上
(水道局と協働)

● スタートアップ × 行政 Meet UP

行政とスタートアップが対話・交流するイベントを毎年7月頃に開催
2025年は、各局職員、スタートアップ、自治体関係者など約270名が
参加



都庁の10部局が現場の課題を紹介



都庁の24部局、11自治体の計35組織が
現場課題等の内容をポスター形式で掲示

都との協働がきっかけでグローバルで活躍する企業も

(株) RevComm

音声技術とAI技術を活用した企業向けコミュニケーションツール

2020. 通話内容をAIで音声解析し、テキスト化・要約を行う
電話解析AI「MiiTel Phone」を全ての都保健所に導入
新型コロナ禍の保健所における電話業務を効率化

2023. インドネシア政府及び政府機関
(社会保険庁)と提携し、政府事業を支援



Biodata Bank (株)

暑熱対策のウェアラブルデバイス「熱中対策ウォッチ カナリアPlus」

2024. キングサーモンプロジェクトに採択
東京消防庁、消防隊員の暑熱下でのリスク検知の可否を検証
⇒ 学校現場、エッセンシャルワーカー、高齢者などの暑さ対策
に活用

2025.5. SusHi Tech 官民協働PITCH



⇒ 2025.9. 世界陸上で導入

グローバル

大きく成長するスタートアップや雇用や経済を動かす企業が増加している

〈世界の人々の生活にイノベーションをもたらす企業〉

Oishii Farm (株) 新しい農業・食べ物の在り方を提示

ロボットやAIを活用し、サステナブルに通年栽培が可能な次世代植物工場を展開

2024.10. アブダビの政府・経済関係者にイチゴをPR

2025.4. 都のゼロエミッション実現等に向けた補助事業に採択

2025.6. 植物工場研究施設を羽村市に開設決定



(株) ヘラルボニー 障害のある作家のアートを社会に浸透

主に知的障害のある作家と契約を結びアートプロジェクトを展開

2024.3. TIB PITCHで優勝。TIBにアート導入

2024.5. LVMH Innovation Award 2024 カテゴリ賞

2024.7. フランスに子会社設立



WOTA (株) 小規模分散型水循環システムで水問題を解決

小規模分散型水循環システム

2016.熊本地震、2018.西日本豪雨、2024.能登半島地震等の被災地へ商品を提供し支援【防災向け】

2024.カリブ海島しょ国において住宅向け「小規模分散型水循環システム」の実証を開始

2025.7. 持続可能な水インフラを、次の世代へ『Water 2040 Fund - 分散型水循環システム導入ファンド -』始動【住宅向け】

2020.UPGRADE with TOKYO で優勝。2021.英国王立財団からの表彰等、受賞歴多数【受賞歴】



(株) TBM GXを加速 カーボンソリューション企業

CO2由来のカーボンリサイクル素材を開発、新素材と循環ビジネスを展開

2018.11.東京都「世界発信コンペティション」(現 東京都ベンチャー技術大賞)「優秀賞」

2022.4. 知財功労賞 経済産業大臣表彰

2024.5. Viva Technology 2024 Japan Pavilion で出展



〈2022年以降生まれたグローバル・ユニコーン※1〉

Sakana AI (株) 革新的AI技術で評価額4千億円(2025年)

多数の小型AIの連携で、自律的かつ環境負荷の少ないAIモデル等を開発

2024.11.伊藤 COOがTIBプロミッションで登壇



2025.5. David CEOがSusHi Techに参加・登壇

(株) ティアフォー 自動運転OSSで評価額1千億円※2超(2024年)

自動運転用オープンソースソフトウェアを開発、車載カメラも製造・販売

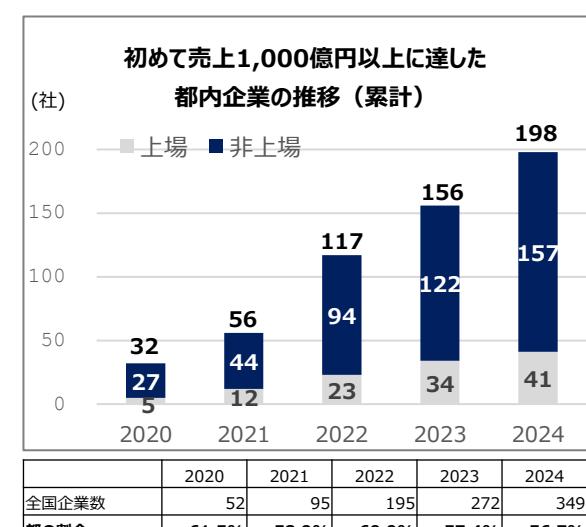
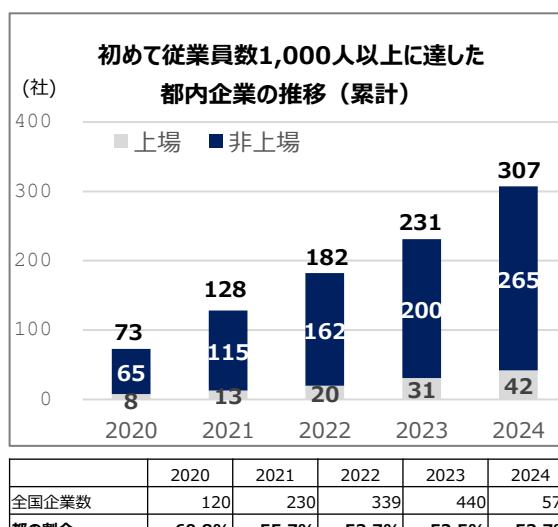


2025.5. SusHi Techで新型プロトタイプ車両の実機展示、加藤 CEOが登壇

2025.7. 海の森公園-新木場駅間で自動運転バスを運行

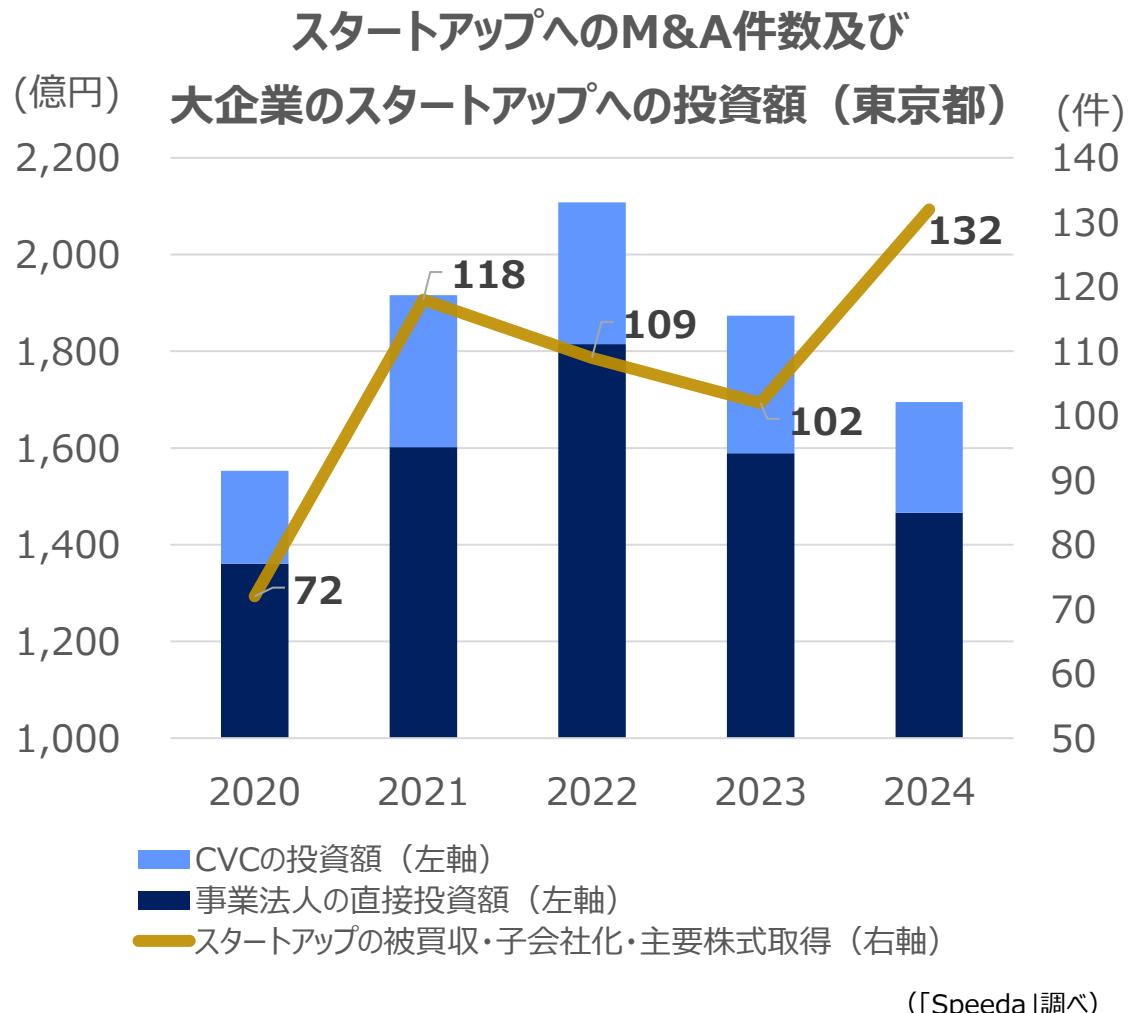
※1 評価額1,000億円以上の未上場企業:「グローバル・ユニコーン」

※2 「Speeda」調べ



(出典) 株式会社帝国データバンク「企業概要ファイル(COSMOS2)」再編加工

大企業からスタートアップへの投資額は2022年をピークに減少傾向にある。スタートアップへのM&Aは、2020年から2024年の5年間で約2倍に拡大



● TIB CATAPULT

様々なビジネス・技術の領域において、事業会社等が強み・特色を活かして、複数事業者による共同体「イノベーションクラスター」を形成、スタートアップとともにイノベーションを創出

採択クラスター：12 参画企業等：約200者※

注力領域： 宇宙 クライメートテック/デバイプテック アクアリテック/フードテック

ライフサイエンス 鉄道/交通 シティ・テック

ロジステックス XR(クロスリアリティ) ものづくり

次世代モビリティ/ロボティクス フードテック/ウェルビーイング エンタメ

※事業開始2024年9月～2025年9月の実績値

（例）スタートアップと鉄道事業者の協働により、都の熱中症予防の取組と連携して、国内初の日傘シェアリングサービス「アイカサ」を山手線全駅ほか、都内的主要駅約150か所（3千本）に展開

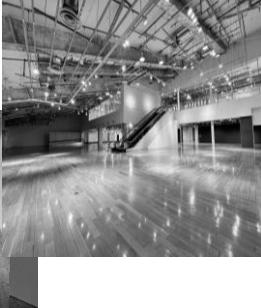


大企業が日常的にTIBで交流する様々なイベント



“みんなで創る” TIB を実践し、イノベーションの結節点に成長してきた

「がらんどう」からエコシステム関係者と「みんなで創る」を実践し、約3か月でオープン。その後も走りながら機能拡充
2年で入場者30万人を超え、世界・全国から多様なプレイヤーが交流する結節点“NODE”に成長している



「がらんどう」からスタート



「みんなで」議論しながら創る



2023.11 プレオープン

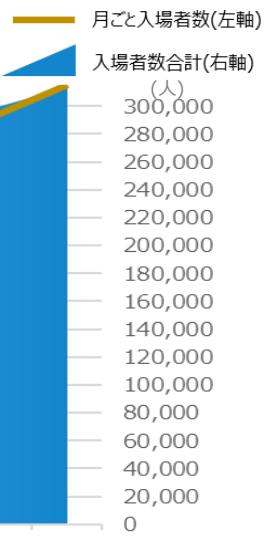
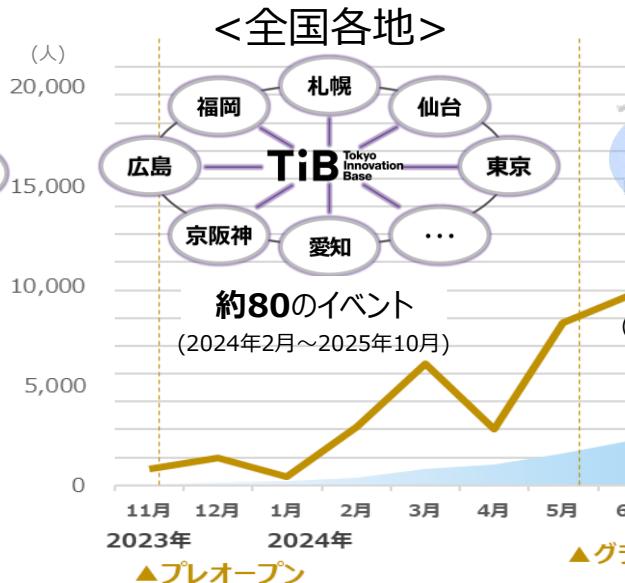
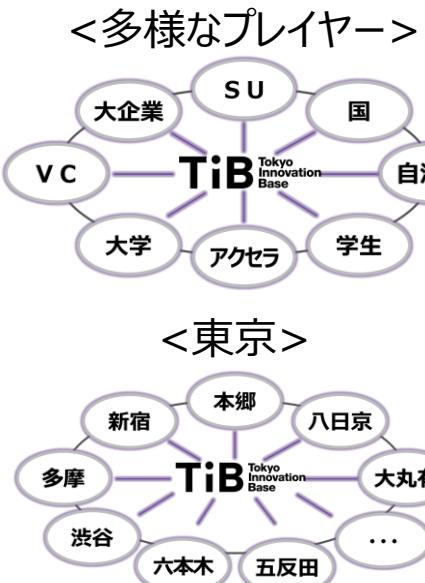


2024.5 グランドオープン
2025.5 1階オープン

TiB
Tokyo
Innovation
Base

Becoming a “NODE”
for innovation around the world

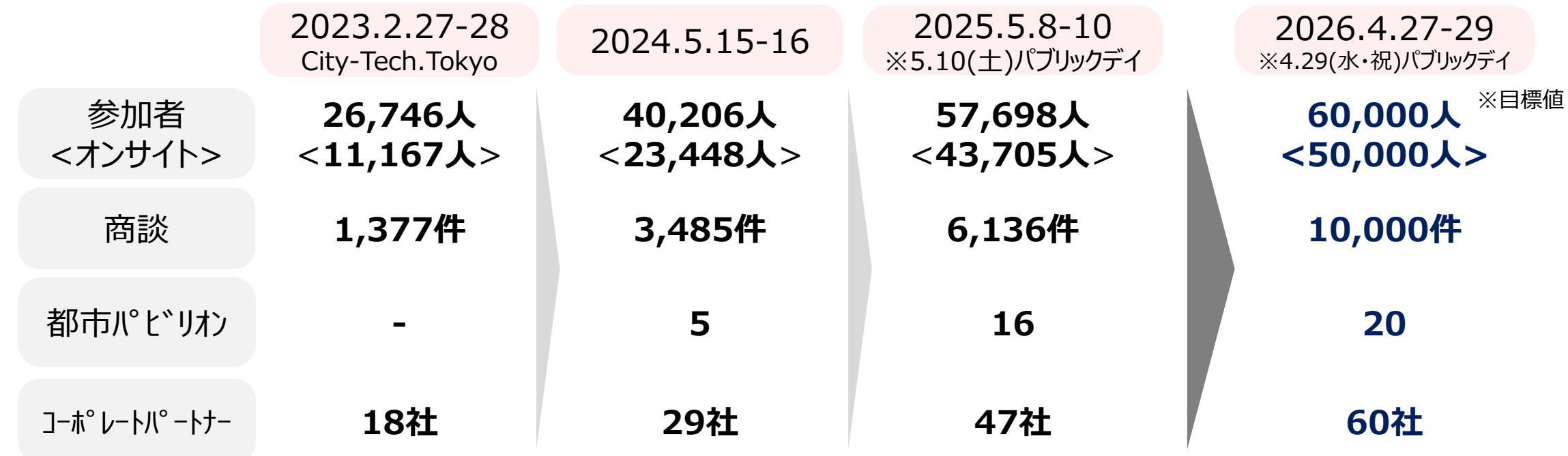
エコシステムを“繋ぐ”



未来の都市を構想するアジア最大のカンファレンス！



SusHi Tech Tokyo : **Sustainable High City Tech** (持続可能な都市をハイテクノロジーで実現する) をコンセプトにグローバルカンファレンスを開催。大企業や自治体、多様な海外プレイヤーが集い、都市の未来を構想・実践する場。3回の開催で、アジア最大のカンファレンスに成長してきた



(SusHi Tech Tokyo 2025)

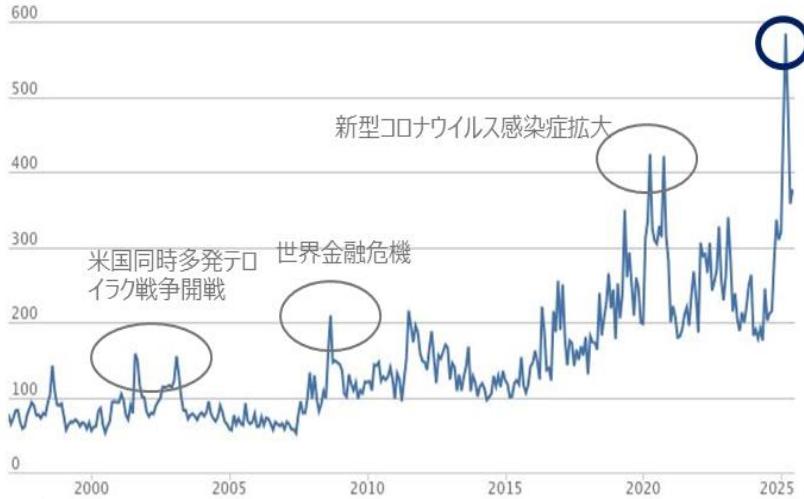


スタートアップ戦略を加速する

世界は刻々と変化している

世界情勢は混とんとし、不確実性が高まっている

グローバルな経済政策不確実性（EPU）指数
（～2025.6）



「Economic Policy Uncertainty」より作成
コメントは「通商白書2025」より

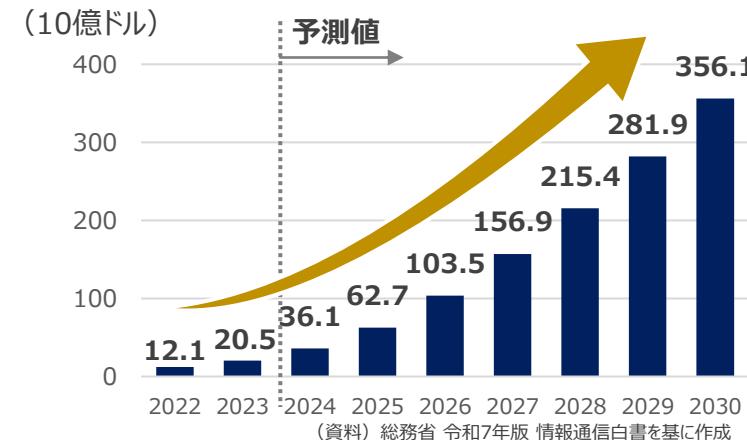
世界の国・都市・地域は、イノベーション創出に向けたエコシステム間の競争が激しくなるとともに、どの地域と切り結ぶかを考え、行動している

⇒ そうした中、技術力があり、政治的安定、
正確・快適・親切な日本への注目・期待が
高まっている機を捉え、グローバルに打って出る

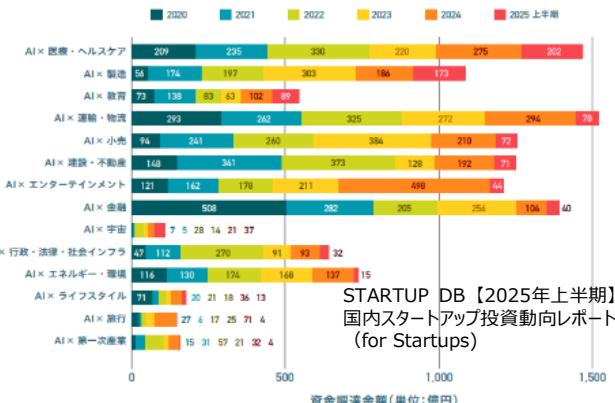
AIの飛躍的進展がイノベーションの起り方そのものを変えている

世界のAI市場の規模は急速に拡大しており、グローバルカンファレンスでもAIは不可欠なテーマに

世界の生成AI市場規模の推移と予測



日本の投資トレンド



⇒ 急速に導入・進化を遂げるAIへの警戒や規制に向けた議論がある中、東京・日本はAIとともに未来を切り拓く“with AI”的視点から取組を打ち出す

〈Viva Technology 2025〉

(2025年6月11～14日・パリ)

AIの進歩に加え、AIを巡る
世界的競争や倫理的問題を掘り下げ



NVIDIAのファンCEOは AIをビジネスとする企業
AIの世界経済への影響に言及 によるAIベニュー

〈GITEX GLOBAL 2025〉

(2025年10月13～17日・ドバイ)

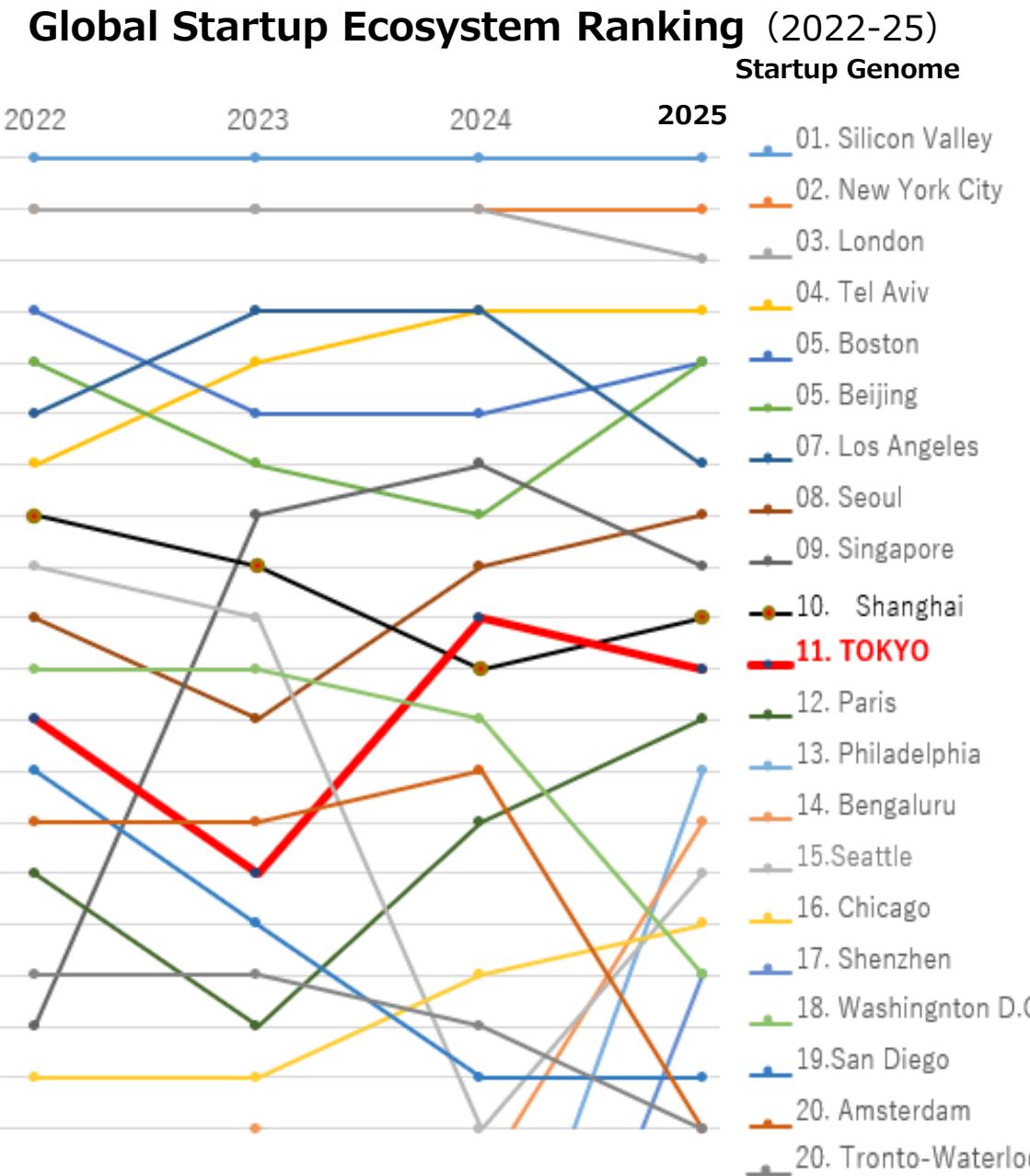
AIに加え、それを軸に拡大する
ビジネスを主要テーマに議論を展開



Open AI アルトマンCEOを迎える
AIによる未来のセッション

- AI
- データセンター
- 半導体
- サイバーセキュリティ
- 量子
- フィジカルAI
- ヘルス

世界の都市のエコシステムは競争と共創が大きく進んでいる



ニューヨーク (米国)

- AI、ライフサイエンス、クライメートテック等の技術をスケールアップする企業にとって重要な拠点として、人材・投資が集中
- **非営利団体であるニューヨーク経済開発公社**が、グローバルに競争力のある経済の実現のために、ニューヨーク市のビジネスの場としての価値を高めている

シンガポール

- シンガポール国立大学が主導するインキュベーション拠点**BLOCK71**がアジアや米国など世界各地に拡大。また、2025年9月には自国内にディープテックに特化した拠点を設置
- グローバルイベントSWITCHでは、ディープテック・ピッチコンテスト「SLINGSHOT」に**世界150の国・地域から6,800以上**のスタートアップが参加

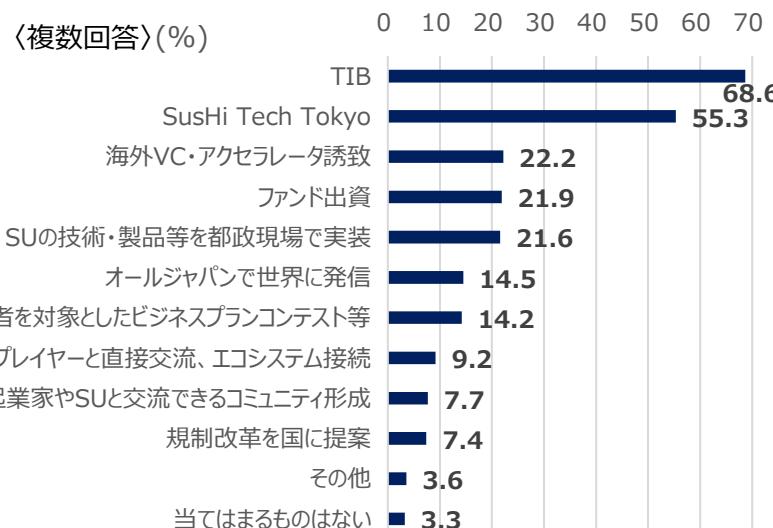


パリ (フランス)

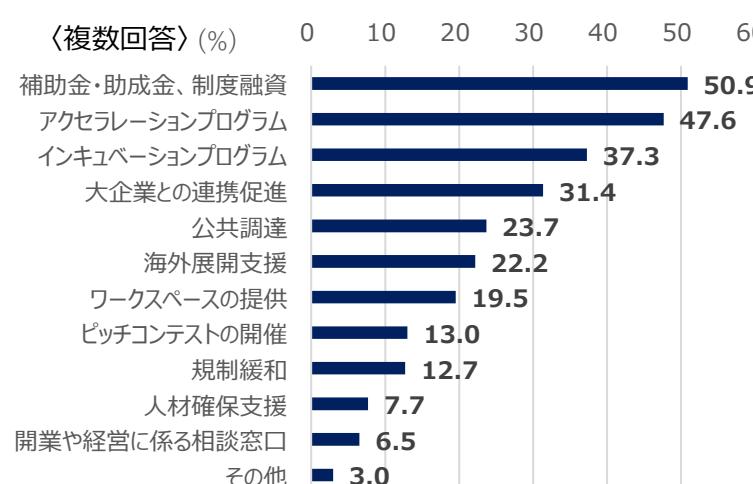
- フランス政府主導の「France 2030」プログラムでは、AI・クリーンテック・医療技術に集中投資 (France 2030 Investment Planとして、約540億ユーロの産業変革投資)
- 欧州委員会としても、2025年5月**「The EU Startup and Scaleup Strategy」**を発表し、欧州をグローバルなテクノロジー主導型企業の主要な拠点として位置付ける施策を推進

スタートアップやエコシステムプレイヤーから、都の戦略推進への期待が寄せられている

評価する取組



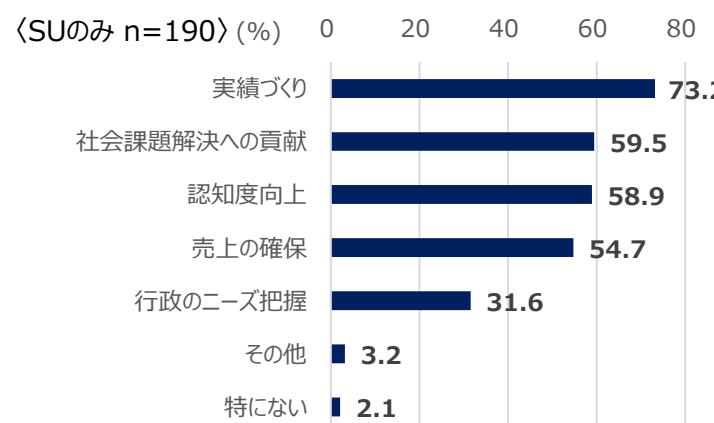
期待する施策



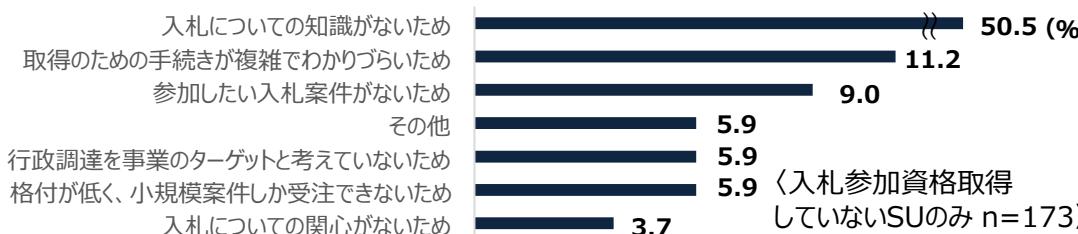
要望

- ・借入での調達がほぼ不可能なアーリーステージのスタートアップが多いので、そこを支援してあげてほしい（事業会社）
- ・活躍の場が限定されてしまっている女性や、これから起業したいと考えている若者～シニア層の人材と、起業家を上手くマッチングさせてほしい（スタートアップ）
- ・IT関連などを中心に公共部門へスタートアップからの調達を積極的に行い、その成果や内容を対外的にPRしていただきたい（金融機関）
- ・ピッチイベントなどの情報がばらけているので、自分で調査して集めてくるのが非常に大変である、まとめてほしい（スタートアップ）
- ・東京都は単なる一自治体ではなく、全国自治体とのハブとなる立場であるため、全国への事業者サービス導入のハブとなる立ち位置を期待（事業会社）

都との協働で期待すること

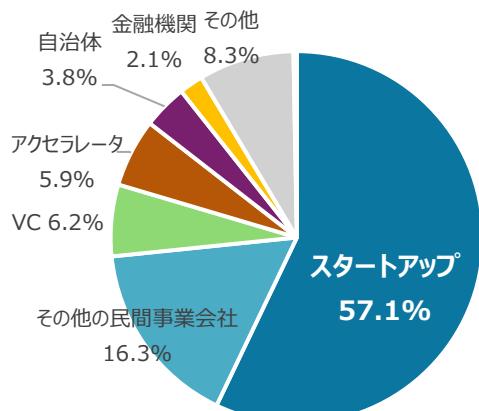


入札参加資格に関すること



- ・「入札参加資格なし」のスタートアップが約9割。主な理由として、「入札制度についての知識がない」が約5割となっており、他には「手続きが煩雑でわかりづらい」等となっている
- ・自由記述では、「公共調達への興味があり、挑戦したい」と意欲的な意見がある一方で、「何の営業種目に該当するかがわかりにくく、スタートアップ向けの相談窓口があると良い」等の意見がある
- ・東京都スタートアップ公共調達サポート窓口の設置や東京都入札契約ガイドブックの作成、入札参加資格登録支援事業、スタートアップ支援施設に設けた出島での相談など、都事業等に採択・認定されたスタートアップに対して、入札参加資格の取得促進に向けて取り組んでいる
- ・引き続き、出張相談会の開催や普及啓発、個別相談を行うなど取組を強化する

回答者属性※ (計338)



※原則1社1回答

2025.10 スタートアップ及び
エコシステムプレイヤー向けアンケートより

サステナブルな江戸のDNAを受け継ぐ東京の強みを活かす

「江戸」の時代から続いている、徹底した循環型経済や、400年朽ちないインフラ、健康で美味しい日持ちする食文化など、
“サステナビリティ”が今も市民の生活に定着し、世界からも注目を集めている



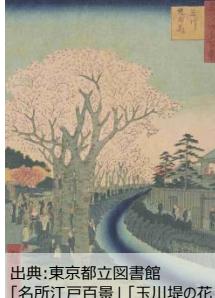
出典：東京都立図書館「東都繁栄之図」



出典：国立国会図書館「百人女郎品定」

庶民が様々なものを包み持ち運ぶ風呂敷
使わない時は折り畳み、繰り返し使用

商人が衣服や食器など壊れたものを
買い付け、修理し、新たな価値を
つけて販売するサイクルが機能



出典：東京都立図書館
「名所江戸百景」「玉川堤の花」



出典：東京都立図書館「玉川上水絵図」

玉川上水：全長約43km・標高差わずか約92m
高度な土木技術で江戸に水を供給



味噌、醤油、漬物、納豆、日本酒など、
多様な発酵技術で食材を長持ちさせ、栄養価を増やす

風呂敷は世界で最初のエコバッグ



Photo:Yujiro Ichioka(TAM.inc)
Paris City Hall前広場に風呂敷包みを
イメージしたパビリオン（2018）



（株）ファーメンステーションが最優秀賞

“MOTTAINAI（もったいない）”が世界でも定着



現在でも一部は上水導水路として利用され
都民の喉を潤している



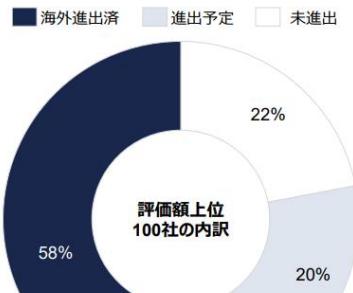
麹づくりは世界中で注目され、
種麹は30カ国以上に輸出
SusHi Tech Tokyo 2025でもテーマに

戦略実践を通じて見えてきた課題を克服する

グローバル市場を意識した活動が、まだ少ない

日本では、評価額上位100社でも海外進出済みの企業は58%に留まる

評価額上位100社の進出状況



注1) 最新調達ラウンド後の評価額（2023年11月時点）

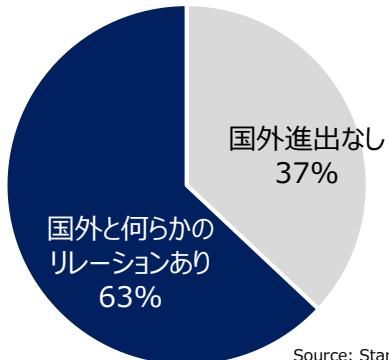
注2) ここでは、「海外進出」を、現地法人・開発拠点・生産拠点・販売拠点の設立、ライセンス契約の締結、と定義した。

注3) 海外進出のために、資金（資金調達）、組織（海外事業チームの立て上げ）、事業（戦略的業務提携契約）などの準備を行っているケース。

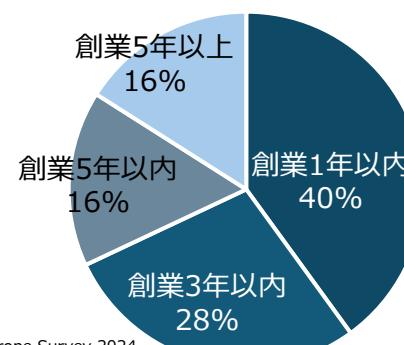
出典: スピーダスタートアップ情報リサーチ、各社HP、公開情報

出典: 「日本のスタートアップの海外進出に関する現状調査（2025年4月）（株）産業革新投資機構）

欧州では、スタートアップの63%が国外とのリレーションを活用して活動



40%が創業1年以内で海外現地法人設置



Source: Startup Heatmap Europe Survey 2024

出典: 「Startup Heatmap Europe 2025」(DEEP Ecosystems, EUROPEAN STARTUP INITIATIVE) より作成

資金調達額は、世界と比べて未だ小規模

■日米: 2012~2014年に設立されたスタートアップの1社あたり調達金額

日本 (n=649社 注1)		米国 (n=11,694社 注3)		1ドル100円換算	1ドル150円換算
段階 (注2)	調達額 (平均)	段階 (注4)	調達額 (平均)		
Seed	0.7億円	1st	\$3.7M	4億円	6億円
A	3億円	2nd	\$7.6M	8億円	11億円
B	7億円	3rd	\$13.8M	14億円	21億円
C	13億円	4th	\$22.8M	23億円	34億円
D	25億円	5th	\$40.2M	40億円	60億円
E	33億円	6th	\$52.5M	52億円	79億円

(注1) 2012~2014年に設立された全スタートアップ2,512社から、スピーダスタートアップ情報リサーチが定義するスピーダシリーズが振られていないスタートアップ、及び、調達金額不明のスタートアップを除いた社数。

(注2) 段階区分は、スピーダシリーズによる。

(注3) 2012~2014年に設立された全スタートアップ15,186社のうち、調達金額不明のスタートアップを除いた社数。

(注4) 段階区分は、PitchBookが定義するVC Roundによる。

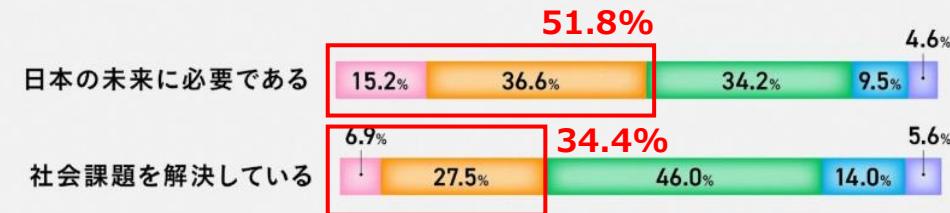
出典: スピーダスタートアップ情報リサーチ及びPitchBookより、JIC作成。

出典: 「日本のスタートアップの海外進出に関する現状調査（2025年4月）（株）産業革新投資機構）

社会・経済に貢献していることの発信・浸透が必要

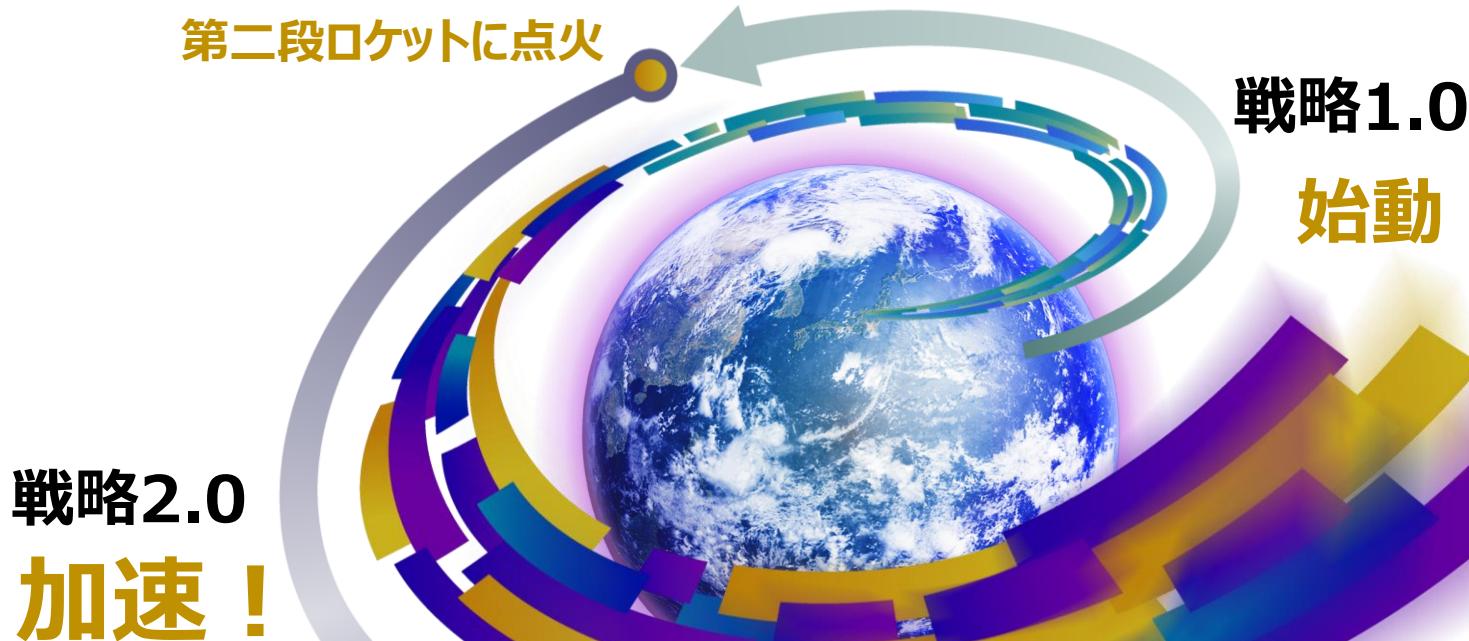
Q.スタートアップ企業に関する以下の内容について、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

■あてはまる ■ややあてはまる ■どちらでもない ■あまりあてはまらない ■あてはまらない



出典: 「2024年 スタートアップ企業に関する意識調査」(2024年6月18日 フォースタートアップス(株))

2つのプラットフォームをベースに、スタートアップ戦略を加速する

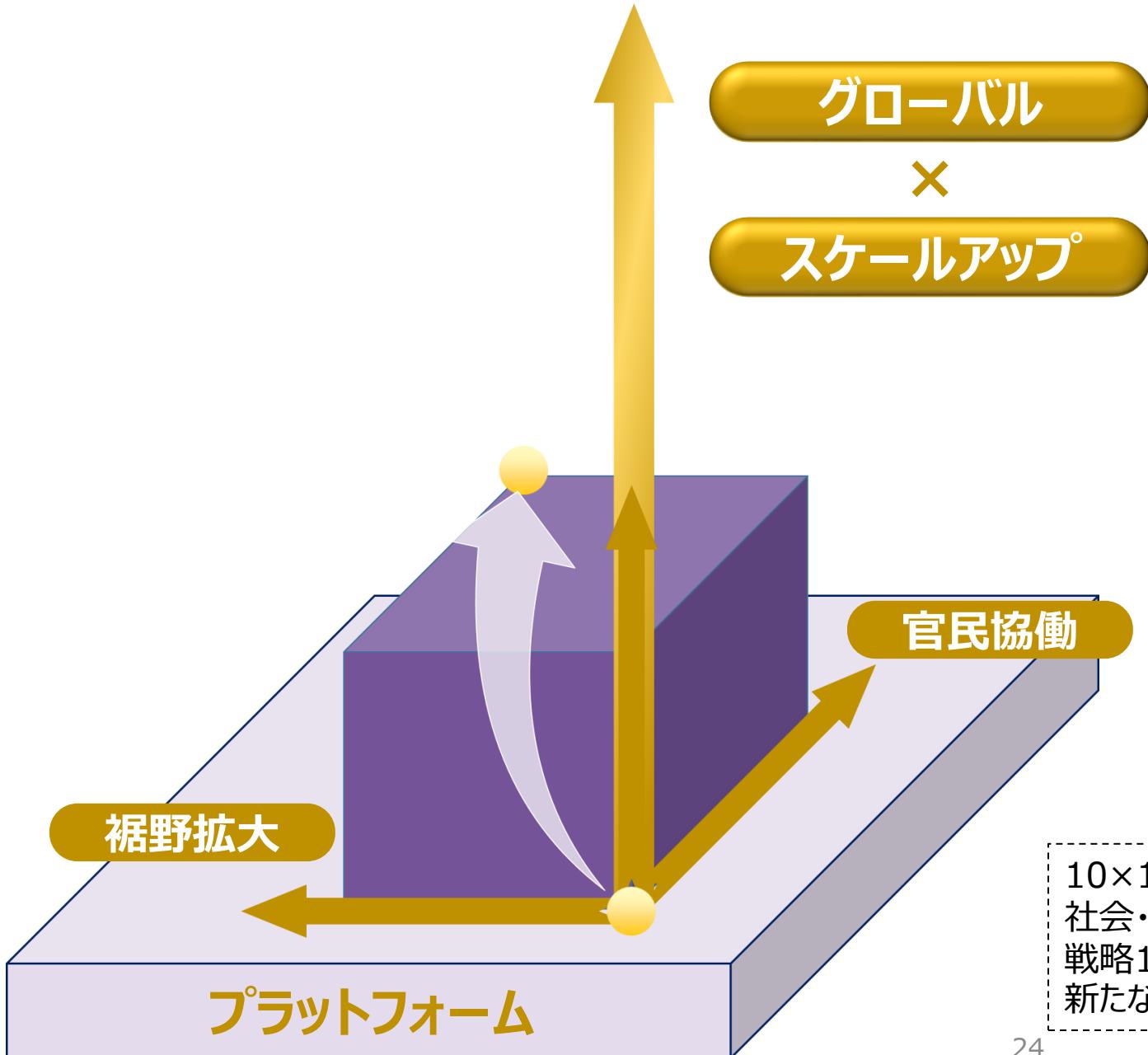


TiB
Tokyo
Innovation
Base
Becoming a "NODE" for innovation around the world

「加速」を生み出すプラットフォーム


SusHi Tech
TOKYO
Sustainable High City Tech Tokyo

10×10×10 イノベーションビジョンをブーストする



斬新な技術を持つスタートアップに加え、大企業や
優れた中堅・中小企業、大学・研究機関等も含めた
トータルでのグローバル・イノベーション創出を目指す
⇒ “グローバル” “スケールアップ” にフォーカス

“裾野拡大”“官民協働” の更なる拡大に向け、多く
の関係者や挑戦者を巻き込み、**都民の豊かで便利**
な暮らしや持続可能な社会にフォーカスし、“**プラット**
フォーム”を土台に取組を進めていく。

10×10×10 イノベーションビジョン達成のために、
社会・経済に貢献し飛躍的に成長する“スケールアップ”と、
戦略1.0後に始まったTIB、SusHi Tech等の“**プラットフォーム**”を
新たな取組の柱として位置付け

戦略1.0で取り組んできた40の施策に加え、新たに戦略を加速する26の施策を開始

グローバル×スケールアップ[®]

みんなで、世界に飛び出す“スケールアップ”企業を大きく育てる

- ・世界に打って出る SusHi Tech Global
- ・ディープテックのイノベーション拠点を生み出す
- ・SusHi Tech Global Funds
- ・世界のエコシステムとの接続強化、海外展開推進

大企業、中堅・中小企業のオープンイノベーションを大きく発展させる

大学・研究機関発のイノベーションをビジネスに結びつける

裾野拡大

あらゆるフィールドでの挑戦を徹底的に応援する

- ・中高生によるアントレプレナーシップ実践を開始
- ・子供が挑戦する TIB KIDS を展開
- ・ITAMAE活動が更に成長
- ・SusHi Tech Tokyo パブリックデイは、イノベーションのわくわく感を体験する場に

官民協働

公共調達・ファーストカスタマーの活動を全国に展開する

スタートアップ[®]等の優れた技術を活用し、社会課題をスピーディーに解決

プラットフォーム

TIBはあらゆる挑戦者を応援する結節点に (TIB2.0)

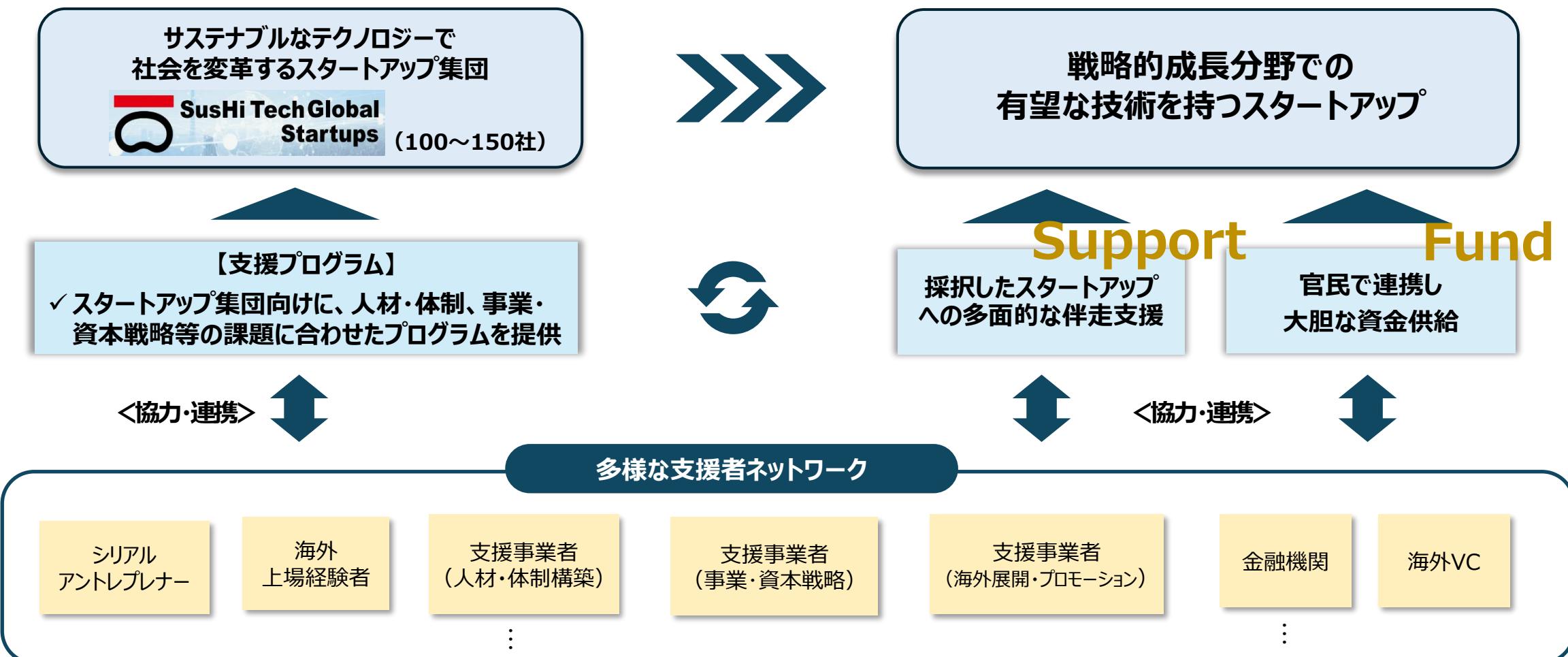
オールジャパンで相互出展、世界に向けて連携して発信

都内全域を SusHi Techのフィールドに。SusHi Techの理念を世界に輸出

イノベーション創出の投資戦略やエコシステムの新たな枠組みを議論

世界に打って出る SusHi Tech Global

グローバルでの飛躍的な成長を後押しするため、海外での大型プロジェクトへの集中的支援と大胆な資金供給を実施
「みんなで創る」理念の下、官民の力を合わせ、これまで日本に存在しない「グロース期のエコシステム」を構築



ディープテックのイノベーション拠点を生み出す

世界での大きな成長が期待されるディープテック・スタートアップのニーズに沿った研究開発環境の整備を加速

多様なディープテック領域の事例

AI、ビッグデータ

量子技術

ロボティクス

フードテック

ライフサイエンス

製造

ウェットラボ等の支援機能を備えるイノベーション拠点形成

TiB
Tokyo Innovation Base



イノベーション拠点

TIBが有するネットワーク・機能も活用しながら、グローバルな活躍を目指すディープテック領域のスタートアップ育成を強力に後押し

国の「グローバル・スタートアップ・キャンパス構想」とも連携

SusHi Tech Global Funds

大学発のディープテックや社会課題解決のポテンシャルを有するグロース期のスタートアップ等へ投資する官民連携ファンドを創設、2年間で約150億円を出資済。今年度さらに最大50億円を出資予定

都出資を呼び水にした民間資金の呼び込みで、約5年間で500億円規模の投資を目指す

SusHi Techの理念を世界に輸出とともに、ディープテック領域など、戦略的成長分野への大胆な資金供給を行うため、既存のファンドも含めた官民のファンド・プラットフォームを形成

民間

出資

東京都

出資



ファンド・プラットフォーム

戦略的成長分野での
有望な技術を持つ
スタートアップ

“スケールアップ”に共鳴する内外の民間資金を呼び込み、成長への大きな流れを生み出す

世界のエコシステムとの接続を強化し、海外展開を一体的に推進

●世界有数のスタートアップ支援機関との連携など、東京と世界のプレイヤー間の交流を加速

職員自らが、海外展示会への出展や関係機関への訪問など、戦略的なプロモーションを展開し、海外エコシステム関係者との関係構築を進め、TIBやSusHi Tech Tokyo への往来に繋がっている

こうした連携を更に強化するとともに、より幅広いプレイヤーとの関係性を新たに構築する



●東京・日本と世界のエコシステムを繋ぎ、スタートアップのグローバル市場への挑戦を全力でサポート



スタートアップの海外派遣など具体的な交流を通じ、世界のエコシステムとの交流も活性化

大企業、中堅・中小企業のオープンイノベーションが東京・日本を変える

様々な産業分野で、大企業がオープンイノベーションを推進

大企業を軸に多様なプレイヤーがアセットを出し合う
様々な領域のエコシステムの形成・発展を図る

〈エンタメ〉

SONY

イノベーション支援を行う
Sony Acceleration
Platformが、**国内外企業、
大学等とコミュニティ形成**

〈宇宙〉

KDDI

多様なアセットで宇宙
事業の参入障壁を下げる
**「MUGENLABO
UNIVERSE」を形成**

〈ライフサイエンス〉

三井不動産
さあ、街から未来をかえよう
MITSUI FUDOSAN

米国のインキュベーター
BioLabsと連携し、
拠点形成

〈フード〉

東京建物

世界屈指の美食科学の
アカデミアのプラットフォーム
と共同で拠点形成

〈AI・データ、通信、金融〉

SoftBank LINEヤフー PayPay

ソフトバンクグループ(株)傘下のソフトバンク(株)、LINEヤフー(株)、
PayPay(株)が、AI、通信、広告、EC、メディア、フィンテック等で連携

中堅・中小企業×スタートアップ で新たな価値創出

スタートアップと中堅・中小企業とのオープンイノベーションにより、課題解決や新たな価値を生み出す

(中堅・中小企業×スタートアップのイメージ)

- ・人手不足・業務効率化分野 (DX推進)
- ・環境・サステナビリティ分野 (GX、サーキュラーエコノミー)



東京商工会議所と連携し、TIBや
SusHi Techで、中小企業とスタートアップ
とのオープンイノベーション事例を発信



TIB FABと都立産業技術研究センターが連携し、
スタートアップの開発中製品の性能試験を実施



国や経済団体等を含め、多彩なプレイヤーをエコシステムに

国も交え、エコシステム発展に資する連携の枠組みや
必要な制度、規制改革・ルールメイクなどを、実態に
即して議論するプラットフォームを作る

議論テーマ例 :
・官民が連携したグローバル展開の促進
・資金供給を促す環境づくり (税制、OI促進)
・経営人材・高度人材の流動化 など

大学・研究機関発のイノベーションが世界に飛び立つ

大学・大企業等で、Well-beingによる課題解決に挑戦

大学、企業、投資家、行政が連携して世界の社会課題解決型スタートアップを支援するイノベーションエコシステム

(一社) WE AT

(Well-being Economy Accelerator Tokyo)



戦略パートナーとしてTIBも参画

グローバルピッチコンテスト「WE AT CHALLENGE」や
SusHi Tech Tokyoでのセッションで協働



WE AT CHALLENGE 2024



SusHi Tech Tokyo 2025
での WE AT セッション

日本全体で世界に通用する大学発スタートアップを支援

- 全国9拠点の大学発スタートアップ支援プラットフォームが連携し、日本全体でグローバルに通用する事業を生み出すことを目的としたイノベーションエコシステム：**NINE JP**



(全国9拠点)



- ・全国160以上の大学・研究機関に加え、幅広いステークホルダーと繋がり、各拠点の技術シーズを見える化
- ・都は、事務局である東京科学大学と連携協定を締結
TIBでの起業サポートやSusHi Techでの世界発信に連携して取り組んでいく

- 東大IPC (東京大学協創プラットフォーム開発 (株) ^{※1})

- ・国内の国公立・私立大学、研究機関と東大IPCが共催し、毎年2回各回約8件採択されるスタートアップ支援プログラム「1st Round」を実施
- ・都が出資する大学発スタートアップ等促進ファンドの運営事業者として全国の多様な大学関連ファンド等に出資し、研究開発型スタートアップへの資金の流れを作り出している



※1 東京大学100%資本の投資事業会社

引き続き、大学との定例懇談会やGTIE^{※2}等とも連携

※2 Greater Tokyo Innovation Ecosystem

中高生によるアントレプレナーシップを実践

中高生が主体になってプログラムの企画・運営を行い、同世代の中高生が社会課題解決や起業、様々なチャレンジに興味・関心を持ち、その解決等に必要な力を身に付け、実践するサイクルを生み出していく

※本事業は、「中高生 政策決定参画プロジェクト」において、中高生自らが議論し、知事に対して政策提案を行ったもの
令和7年度は「中高生にビジネスや起業に親しみを持ってもらおう」をテーマに実施



中高生 政策決定参画プロジェクトの活動の様子

子供の挑戦を育てる“TIB KIDS”を展開

未来を担う子供を対象とした“**TIB KIDS**”を新たに展開する。子供のワクワク体験に取り組む様々な企業・団体と連携し、テクノロジー体験、起業家との交流機会を日常的に提供する



ITAMAE活動が更に成長

世界と交流し、“自ら動く” おもしろさを学ぶ

- ・学生主体で運営される北欧のスタートアップイベント「**SLUSH**」等への派遣
- ・TIBでのグローバルイベント「**WASABI**※」の実施
- ・SusHi Tech Tokyoを舞台とした企画運営 など

※We Are StArtup Beginners Invitation



SLUSH2024



WASABI



学生ボランティア約300人が、SusHi Tech Tokyo 2025に来場する多様な参加者と交流

SusHi Tech Tokyo パブリックディーを通じてイノベーションのわくわく感を体験

SuSHi Tech Tokyo 最終日の土/日/祝日をパブリックデイとして、子供から学生、大人まで、**楽しみながら最新技術や起業家のアイデア・情熱に触れ、好奇心やチャレンジ精神を育む一日**にする

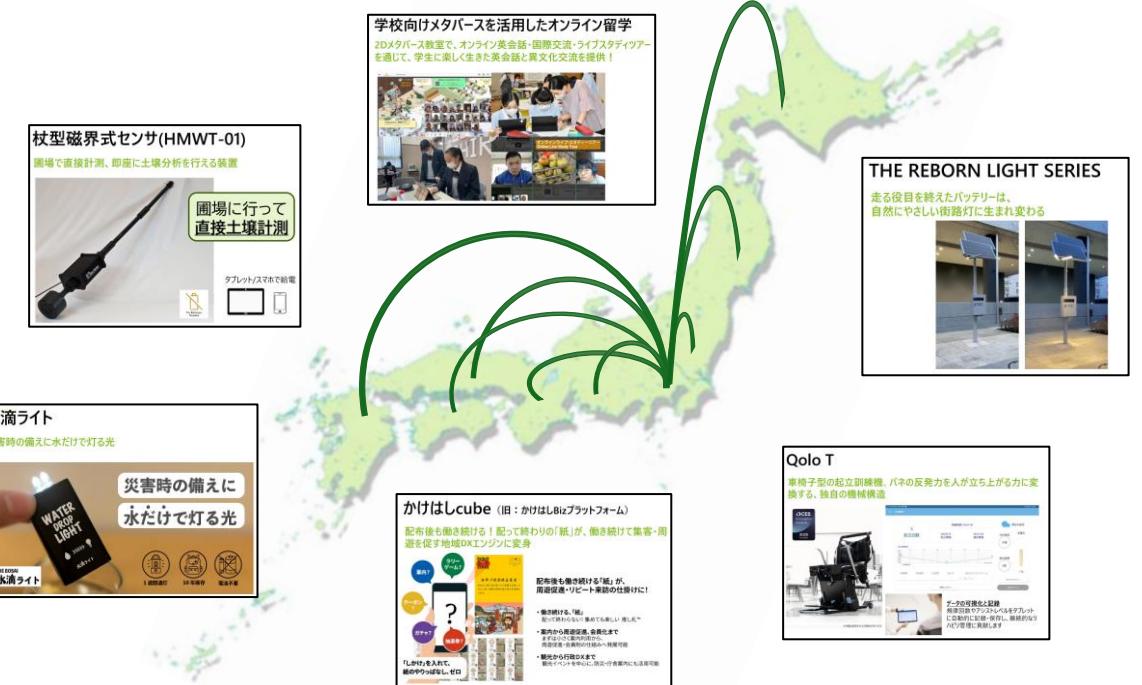


ファーストカスタマー・アライアンスの輪を広げる

官民協働の取組を全国に拡げ、全国の自治体とともに
ファーストカスタマーとなる仕組みを展開

自治体の枠を超えてスタートアップの公共調達への参入を促進する
ファーストカスタマー・アライアンスに、18自治体が参画(2025.11.25時点)

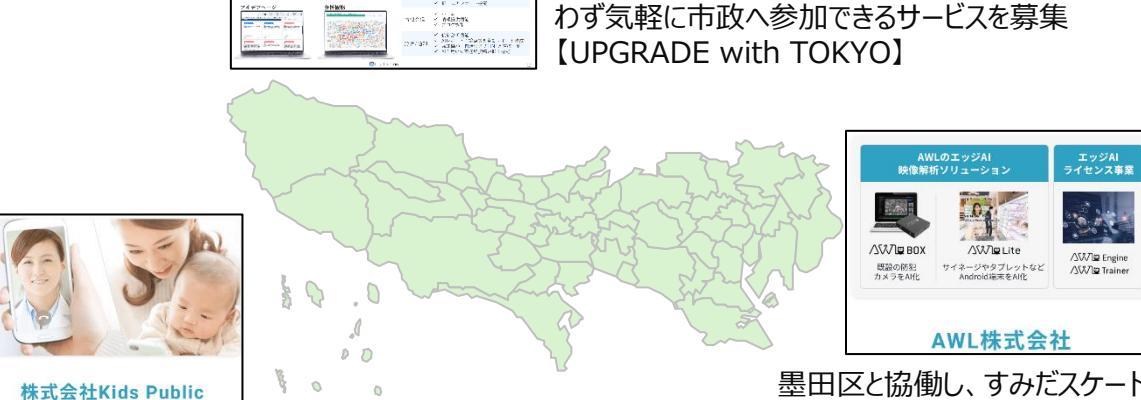
⇒ 爆発的に拡大する



©2025. For information, contact Deloitte Tohmatsu Risk Advisory LLC.

全国の自治体がスタートアップのプロダクトやサービスの導入を通じて
企業の成長と各地域の振興を図り、より良い社会を創り上げていく

多摩・島しょ地域を含む都内各自治体がファーストカスタマーとなるよう、
区市町村の課題を共に解決する取組を引き続き展開し、サポートする



墨田区と協働し、すみだスケート
ボードパークでのエッジAIによるヘル
メット未着用者の検知・予防を実施
【キングサーモンプロジェクト】

スタートアップ等の優れた技術を活用し、社会課題をスピーディーに解決

スタートアップ等の優れた技術に対して、政策目的随意契約を活用し、都政の課題解決に有効な対策を速やかに展開

課題解決に繋がった好事例をファーストカスタマー・アライアンス（FCA）等で、全国の自治体へ展開することで、社会全体に貢献する

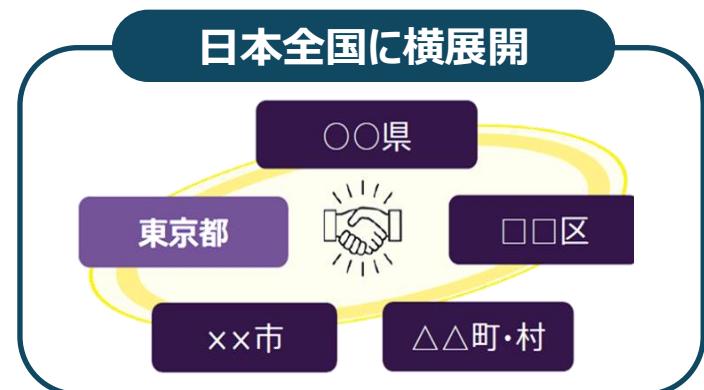
＜導入プロセス（例）＞



＜スピードアップ＞



＜効 果＞



スタートアップのテクノロジーが都民の生活を豊かにする

医療、子育て、女性、生活などウェルビーイングを実現する企業、社会課題解決に繋がるスタートアップを育てていく

島しょ地域でのデバイスを用いた オンライン診療

キングサーモンプロジェクトを活用し
八丈町で実証



ヘルステータを活用した妊婦への 伴走型健康管理サポート

キングサーモンプロジェクトを活用し
渋谷区で実証



ポップアップ託児を提供

TOKYO STARTUP GATEWAY 2024
優秀賞・メンバーシップ賞の受賞者により
SusHi Tech Tokyo 2025で臨時託児所を設置



甘噛みロボット

2023年TIB PITCHで採択・展示
SusHi Tech Tokyo 2025パブリックデイ
でも大人から子供まで癒しの空間を提供



多摩ヒノキ材の曲げわっぱ

2025年TIB SHOPで
テストマーケティング実施



自律型トイレ清掃ロボット

2025年TIB PITCHで採択・試験導入



これまで以上に多様な挑戦者が集まり
領域を超えた新たなイノベーションが生まれる場に

- エンタメ、アート、音楽、スポーツ等様々な分野の主体を応援
各分野の挑戦者が集い、交流し、発信するイベント等を展開



- 女性起業家の活躍支援や、悩みごとを相談できるコミュニティ形成などにより、エコシステムのDEI (Diversity, Equity & Inclusion) 推進のプラットフォームにしていく



- 未来を担う子供を対象とした“TIB KIDS”を新たに展開する

- ・子供達がワクワクするテクノロジー体験、日々チャレンジする起業家等との交流の機会を提供する
- ・趣旨に賛同する様々な企業・団体等と連携し、実施



TIBのイノベーション活動を都内各地に展開

“結節点”であるTIBを核に、都内全域をイノベーションフィールドとしていく TIB2.0

東京の強みである領域ごとに、各地のアセットとの連携を強化し、TIBの理念・活動を都内全域に広げていく



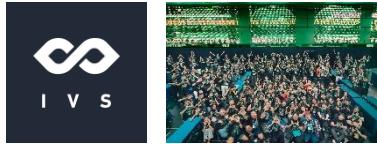
～ 世界最高にスタートアップ + 挑戦者フレンドリーな東京へ～

オールジャパンの輪を広げる

全国のイベントに相互出展、1年を通してPR。TIBを結節点とした各地のスタートアップやエコシステムプレイヤー間の交流も増やしていく

IVS

7月
京都



9月
大阪

Tech Osaka Summit



GLOBAL STARTUP EXPO 2025



イノベーション・ハブ・ひろしまCamps



10月
福岡

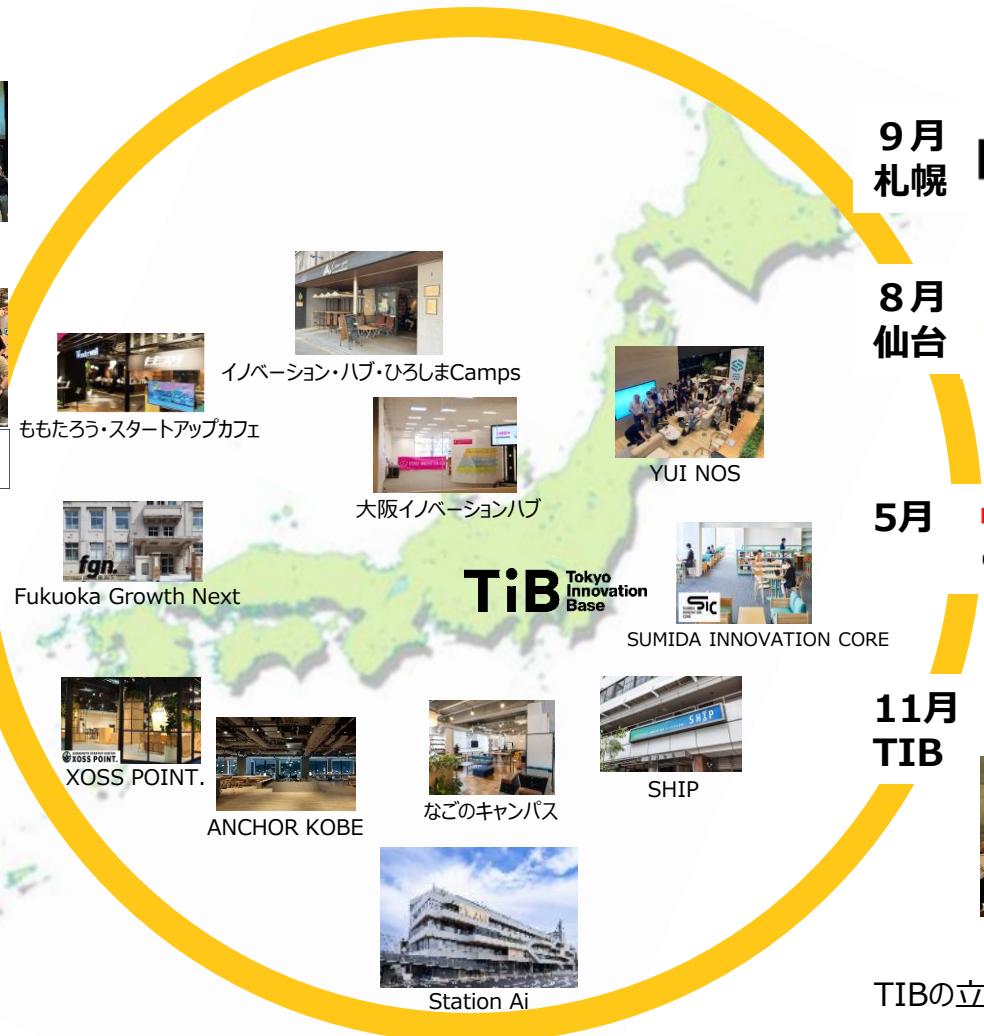
RAMEN TECH



Tech GALA



1月
愛知・名古屋



9月
札幌

NoMaps



8月
仙台

DATERISE!



5月

SusHi Tech TOKYO



11月
TIB



TIBの立地を活かし、日常的に自治体と連携したイベントを開催



世界に向か、日本の強みをAll Japanで強力に発信

国際的なカンファレンスに職員自ら出向き、東京だけでなく、国や全国の自治体、大学、企業など、日本全体がワンチームとなってサステナブルな社会の実現に向けた技術やサービス、カルチャーを発信していく

Viva Technology 2025では、All Japanのエコシステムを発信



愛知県、京都市、仙台市と連合で出展



Japan Ecosystem Meetup Night を現地で開催



世界の様々なカンファレンスで、これまでバラバラだったものを連携して
オールジャパンに昇華

国と連携し、主要なエコシステムとの相互協力を充実

内閣府のスタートアップ・エコシステム拠点都市のグローバル拠点都市（第2期）に「スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアム」が選定（2025年6月）

「世界・全国のエコシステムとの広域連携の推進」を東京圏（茨城県、つくば市、埼玉県、千葉市、東京都、渋谷区、神奈川県、横浜市、川崎市等）として掲げ、国と連携し、オールジャパンで取り組む

スタートアップ・エコシステム拠点都市

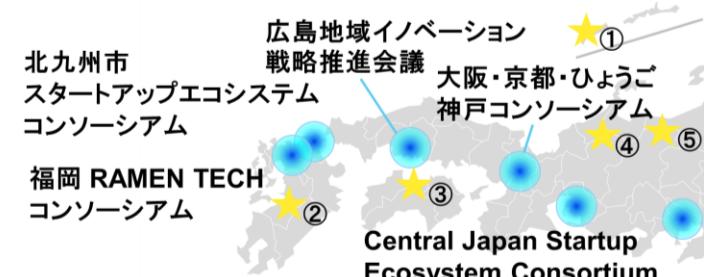
グローバル拠点都市

★ NEXTグローバル拠点都市

- ①おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム
- ②くまもとスタートアップ・エコシステムコンソーシアム
- ③瀬戸内スタートアップコンソーシアム
- ④北陸スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム
- ⑤REGIONAL NEXUS HUB ~NAGANO・NIIGATA~



札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会



北九州市
スタートアップエコシステム
コンソーシアム

福岡 RAMEN TECH
コンソーシアム

広島地域イノベーション
戦略推進会議

大阪・京都・ひょうご
神戸コンソーシアム

①

④

⑤

Central Japan Startup
Ecosystem Consortium

仙台・東北スタートアップ・
エコシステム・コンソーシアム

スタートアップ・エコシステム
東京コンソーシアム

公共調達や各都市でのイベント出展など、ノウハウの共有等を進めていく



25年8月 第2期キックオフイベント
@TIB



SCPN(※)を通じて各エコシステムが直面する
共通課題を議論 ※ Startup City Project Network



世界のどこにもない、誰もが行きたくなる SusHi Tech Tokyo へ

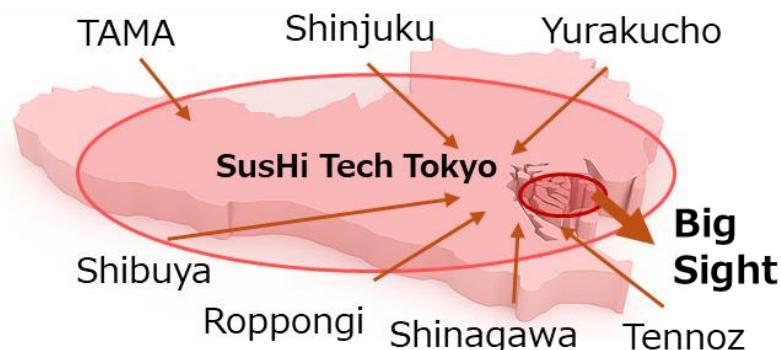
〈10回目の SusHi Tech Tokyo〉



- ・グローバルをさらに徹底して全国各地のスタートアップイベントと繋がり、オールジャパンを牽引する
- ・スタートアップだけでなく大企業、大学など多様な主体が多数参画するイノベーションカンファレンスに
- ・エンタメ、文化など日本の強みを打ち出し、世界中の人が楽しめるユニークなイベントとなる

東京全体を会場として、東京を味わい尽くす

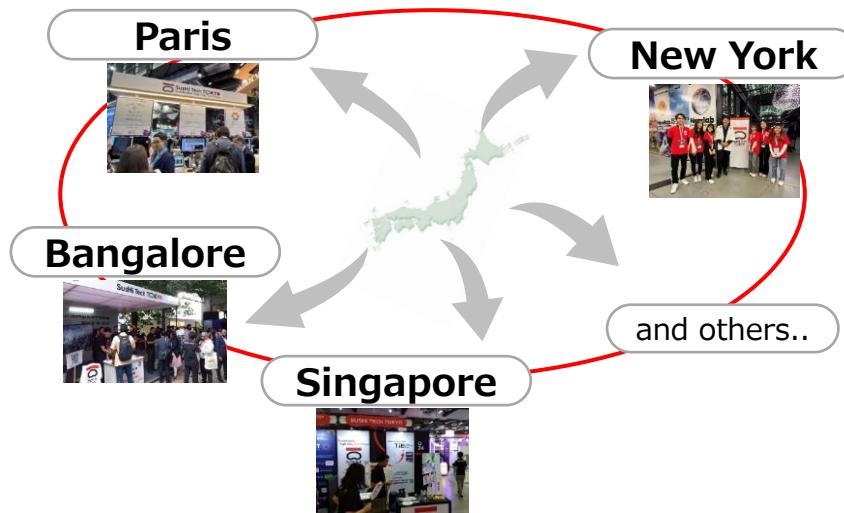
Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon
Art	前夜祭	Big Sight	音楽	V C		
		Networking				
Food		アニメ		Sports		



様々な分野・プレイヤーのイベントを集中的に実施
1週間全てがSusHi Techに

東京ビッグサイトの会場だけでなく、
都内全域、まち全体をSusHi Techのフィールドに

SusHi Tech Global
～“SusHi Tech”の理念を世界に輸出～



「持続可能な都市をハイテクノロジーで実現」という
SusHi Tech Tokyo のコンセプトとそれを体現する
企業が世界各地のエコシステムでブランド展開



大企業、研究機関、世界の都市が集い、イノベーションを生み出すカンファレンスとして進化

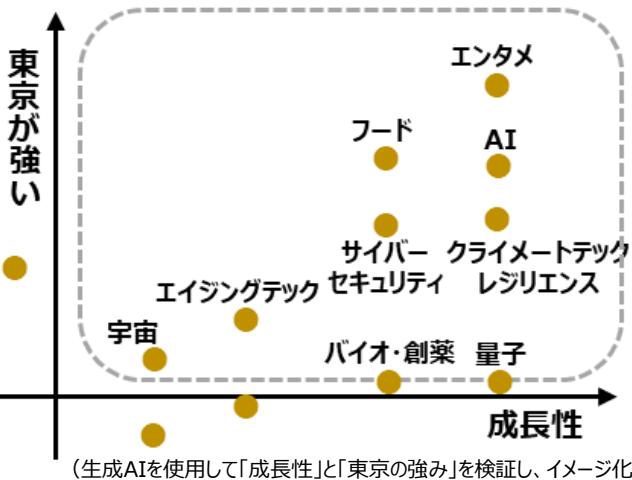
未来を見据えた成長戦略とエコシステムの新たな枠組み

施策の加速化に向けて、成長につながるイノベーションをもたらす、より強固な仕組みづくりを官民協働で進める

みんなで議論するイノベーション創出に向けた投資戦略

雇用を生み出し経済を活性化させる**成長性**と東京・日本の**勝ち筋・強み**を掛け合わせた分野への集中投資など、スケールアップを生み出すイノベーション創出に向け、国の17の戦略分野等も踏まえ、みんなで議論して練り上げる

東京の強みと成長可能性



セクター別 雇用増加率 (東京都・上位)

セクター	雇用増加率
宇宙	45.1%
旅行	43.4%
交通	39.5%

2022年12月→2024年12月

(株)ケップル調べ

AIとの掛け合わせによる2024年 国内セクター別資金調達額（全国・上位）

セクター	資金調達額
エンタメ	498億円
運輸・物流	294億円
医療・ヘルスケア	275億円

(出所)STARTUP DB【2025年上半期】国内スタートアップ
投資動向レポート (for Startups)より作成

国の「危機管理投資・成長投資」戦略分野

- ①AI・半導体
- ②造船
- ③量子
- ④合成生物学・バイオ
- ⑤航空・宇宙
- ⑥デジタル・サイバーセキュリティ
- ⑦コンテンツ
- ⑧フードテック
- ⑨資源・エネルギー安全保障・GX
- ⑩防災・国土強靭化
- ⑪創薬・先端医療
- ⑫フュージョンエネルギー
- ⑬マテリアル（重要鉱物・部素材）
- ⑭港湾ロジスティクス
- ⑮防衛産業
- ⑯情報通信
- ⑰海洋

○ディープテック（AI、ロボティクス、バイオ、創薬、宇宙等）

- ・AI法が施行。深層学習や生成AIの先端研究を大学等が牽引
- ・超高齢社会で介護・生活支援等サービスロボットなどの実用化が加速
- ・慢性疾患増加でバイオ医薬品や遺伝子編集等先進医療の需要が拡大
- ・大学・病院・研究所・企業等が集積し、研究から臨床までの体制が整備
- ・市場拡大が見込まれる宇宙※は、スタートアップの雇用増加率がトップ

○エンターテインメント（映画・アニメ・ゲーム・音楽等）

- ・世界的IPや秋葉原・渋谷・池袋などエンタメの活発な地域を有する
- ・AIとの掛け合わせによるセクター別スタートアップ資金調達額がトップ

○レジリエンス（防災インフラ、サイバーセキュリティ等）

- ・これまで大規模地震や台風等で様々な経験をし、その対応力が強み
- ・国土強靭化基本計画では、防災インフラ整備やライフライン強靭化等が柱

○クライメートテック（GX、フュージョンエネルギー等）

- ・「GXスタートアップ創出・成長ガイダンス」の策定。大学・研究機関発企業のフュージョンエネルギー、バイオマス、廃熱回収等の技術力が高い

※ 経済産業省「国内外の宇宙産業の動向を踏まえた経済産業省の取組と今後について」(令和6年3月)で、2030年代初頭までに市場規模8兆円を目指すとしている。

東京・日本のエコシステムの「見える化」を始動

- 都が保有する情報をオープンデータ化し、各社への支援実績の公開、**企業の成長状況等を「見える化」**
- 近隣自治体を含む東京のエコシステムを「見える化」し、TIBアプリやグローバルデータベースと連携し、グローバルに発信
- 国や全国の自治体と一緒に、**東京・日本のエコシステムを「見える化」し、全体像の把握**に活用するとともに世界に発信し、PRする



関係者と議論しながら みんなで創り、みんなで進める

- 各施策の推進にあたっては、**サステナビリティ** 及び **DEI** (Diversity, Equity & Inclusion) を徹底



- 都庁各局に配置されたスタートアップ担当
“Team Tokyo Innovation” が一丸となり、スタートアップ施策に取り組む

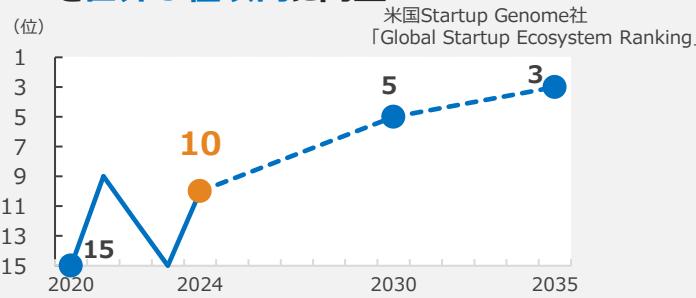
Team Tokyo Innovation
for All the STARTUPs

- スタートアップ支援拠点に設置した**出島やTIBでの常駐**、職員自ら海外拠点や展示会に赴くことでスタートアップやエコシステム関係者と**フラットな交流**を更に強化。「みんなで創る」「みんなで進める」を軸に、**持続可能なエコシステムの発展**に向けて、将来の運営体制を議論していく

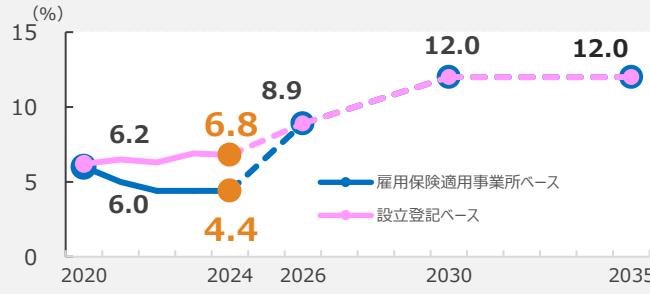
Appendix

「2050東京戦略」政策目標に向けて取組を推進

■ スタートアップ・エコシステムランキングを世界3位以内に向上



■ 都内開業率を12%に向上

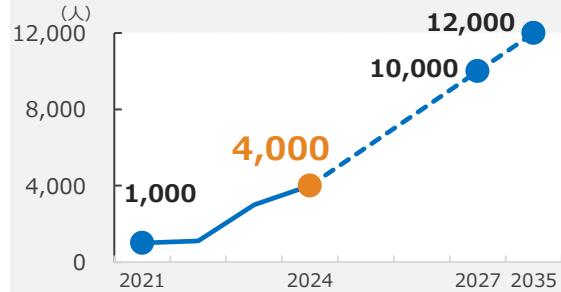


■ 官民協働実践数を1,000件/年に増加



東京の起業数

■ TOKYO STARTUP GATEWAY 参加者数を12,000人/年に増加



■ 東京都のプログラムによる 支援企業を2,000社/年に増加



■ 大学発ベンチャーの増加数を2,000社/年に増加



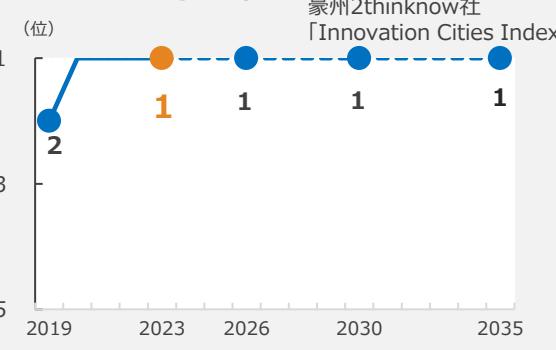
■ 新規スタートアップ数を10,000社/年に増加



■ 東京発ユニコーンを20社/年輩出

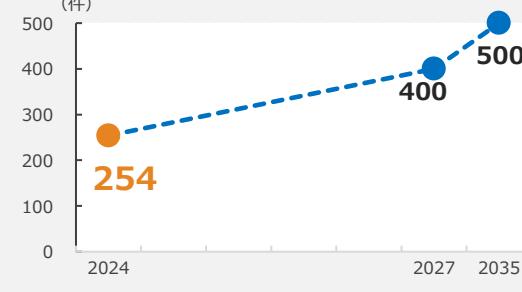


■ イノベーション都市ランキング 世界1位を維持

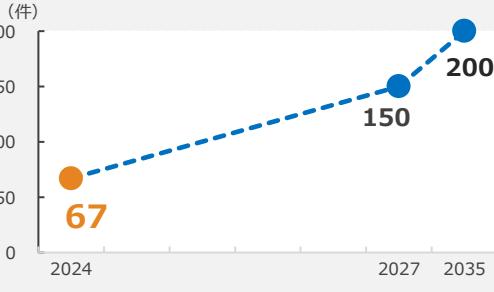


TIBやSusHi Tech Tokyo等における連携

■ 海外機関との連携件数を500件/年に増加



■ 全国の自治体との連携 件数を200件/年に増加



戦略1.0 ~Global Innovation with STARTUPS~ の取組状況

I -① イノベーションを起こす"場づくり			
"Tokyo Innovation Base" 構想		Tokyo Innovation Base (TIB) を23年11月に開設	<input type="radio"/>
スタートアップのDB構築		23年度から検討会を開催し、25年度構築を開始	<input type="triangle"/>
Startup Ecosystem SummitやCity-Tech.Tokyoなどのイベント開催		アジア最大のイノベーションカンファレンス SusHi Tech Tokyoや Startup Ecosystem Summit を開催	<input type="radio"/>
スタートアップ支援施設のマネージャー等を集めた交流会を開催		TIB"拠点連携会議"による交流の拡大	<input type="radio"/>
都と、国内外のVC、アクセラレータ、大企業等が協定を締結し、民間のアイデア、ネットワーク、フィールドなどを最大限に生かしたこれまでにない多彩なスタートアップ支援		多様な主体によるスタートアップ支援展開事業 (TOKYO SUTEM) を23年度から実施	<input type="radio"/>
大企業発の新技術、中小モノづくり企業とのコラボレーションを促進、新たな事業を生み出す		GEM Startup TOKYOや多摩ものづくりスタートアップ起業家育成事業を実施	<input type="radio"/>
I -② 成長を促し、加速させる投資			
独創的なアイデアを持つ若者等への支援		若者の独創的なアイデアを実現させる支援 "TIB STUDIO"を23年度から実施	<input type="radio"/>
優れた研究シーズを持つ研究者等への支援		大学発スタートアップ創出支援事業を23年度から実施	<input type="radio"/>
大学VC等からの資金供給をより一層充実させてSUの成長を促進		大学発スタートアップ等促進ファンドを23年度に組成	<input type="radio"/>
海外VC・アクセラ誘致の仕組みを構築してグローバル展開を実現		経済産業省・JETRO・内閣府等と連携し、23年度から海外有力VC、アクセラレータを誘致	<input type="radio"/>

I -③ ファーストカスタマーとしての公共調達拡大			
スタートアップの技術・発想を活かす新たな枠組みを構築	➡	スタートアップによる事業提案制度を23年度から実施	<input type="radio"/>
スタートアップと都政現場との接点を大幅に拡大		UPGRADE with TOKYOやキングサーモンプロジェクトの区市町村での実証、現場対話型スタートアップ協働プロジェクトを23年度から実施	<input type="radio"/>
国と連携したデジタルマーケットプレイスへの参画		デジタルマーケットプレイス（DMP）正式版カタログサイトをデジタル庁が24年10月にリリース	<input type="radio"/>
都の入札契約制度や手続きにおける取組		スタートアップを対象とした入札参加資格登録支援事業を23年度から実施 東京都スタートアップ公共調達サポート窓口を23年度から設置 東京都入札契約ガイドブックを23年度に作成	<input type="radio"/>
I -④ 規制・ルールの “リ・デザイン”			
スタートアップの伴走支援を行い規制改革提案につなげていく	➡	民間のスタートアップ交流拠点内に出島を設置し様々なスタートアップのニーズを把握 規制改革コーディネーターと連携し規制改革を推進	<input type="radio"/>
海外高度人材の呼び込みに寄与するビザや創業支援制度の規制緩和の提案		「高度専門職」の在留資格取得に必要なポイントの特別加算	<input type="radio"/>
その他			
東京の産業全体の活性化につなげる	➡	GEMStartup TOKYOを実施	<input type="radio"/>
技術革新により、持続可能な社会を実現する		ディープ・エコシステム、グリーンスタートアップ支援等を実施	<input type="radio"/>
女性活躍等を進め、多様性を向上させる		APT WOMEN、EmpowerHER の取組を実施	<input type="radio"/>
多摩・島しょの魅力を高める		多摩ものづくりスタートアップ起業家育成事業やTOKYO ISLANDHOOD with STARTUPSを実施	<input type="radio"/>

II-① アントレプレナーシップ（起業家性）の育成

小中高校生への継続的なアントレプレナーシップ教育を実施		アントレプレナーシップ育成プログラム推進事業（TIB STUDENTS）を24年度から開始	<input type="radio"/>
都立大学のアントレプレナーシップ教育を拡充		アントレプレナーシップの醸成に資する取組として正規課程授業の開講及びTMUビジネスアイデアコンテスト等を実施	<input type="radio"/>
プラスアップ型のビジネスプランコンテスト「TOKYO STARTUP GATEWAY」を拡充し、起業家志望の若者の登竜門に		TOKYO STARTUP GATEWAY等への参加を促進	<input type="radio"/>
アントレコミュニティのための場づくり		TIB JAMを23年度から開始	<input type="radio"/>
学生がスタートアップに触れる仕組みづくり		スタートアップ・インターンシップフェス、スタートアップへのインターンシップ推進事業を23年度から開始	<input type="radio"/>
学生・若者との交流を促進		TIB JAMを23年度から開始	<input type="radio"/>

II-② グローバルマインドの醸成（英語教育、留学、国際交流）

スタートアップイベントを通じた実践		グローバル交流活性化事業を24年度から開始 学生が主体となって、イノベーションカンファレンスのセッションやワークショップ、ピッチなどを企画・運営（ITAMAE）	<input type="radio"/>
GLOBALに活躍できる人材を育成		海外派遣に関する支援や体験型英語学習環境の整備等を実施	<input type="radio"/>
職員自ら、海外の先進事例に学ぶ		海外で開催される主要なテックイベントへ出展・参加 海外のキープレイヤーとの関係構築	<input type="radio"/>

III-① 大学との強力な連携を実現

スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアム		ワーキング・グループ、イベント等を開催	<input type="radio"/>
大学との定例懇談会		懇談会を毎年開催	<input type="radio"/>
スタートアップ・エコシステム形成支援事業 GTIE(Greater Tokyo Innovation Ecosystem)		GTIEの参画大学拡充 (13大学→17大学)	<input type="radio"/>
資金支援メニューの充実		大学発スタートアップ創出支援事業を23年度から開始 大学発スタートアップ等促進ファンドを23年度に組成	<input type="radio"/>
学生とスタートアップの交流機会の創出		TIB JAMを23年度から開始	<input type="radio"/>
学生のキャリア選択支援		「Startup Career Fair」を22年度から開催 スタートアップへのインターンシップ推進事業を23年度から開始	<input type="radio"/>

III-② 関係者が総力を挙げて一体的にスタートアップを支援

東京都は、出島でのワンチームを編成し、日々交流		日常的にスタートアップやその支援者と意見交換等を行うことを通じて関係を深め、 様々なニーズを把握	<input type="radio"/>
-------------------------	---	---	-----------------------

IV-① City – Tech.Tokyo等のグローバルイベント

スタートアップの挑戦を後押しするCity – Tech.Tokyoを開催		アジア最大のイノベーションカンファレンスSusHi Tech TokyoやStartup Ecosystem Summitを開催	<input type="radio"/>
海外のグローバルイベントを活用し、他のエコシステムと繋がる		海外で開催される主要なテックイベントへ出展・参加 海外のキープレイヤーとの関係を構築するとともに、海外のスタートアップ・エコシステムとの連携強化	<input type="radio"/>
国と連携し、オールジャパンで世界に発信		国や全国の自治体と連携し海外展示会に出展するなど、オールジャパンのエコシステムを世界に発信	<input type="radio"/>
スタートアップ情報を世界に一元的に発信		23年度から検討会を開催し、25年度構築を開始	<input type="triangle"/>

挑戦者が生まれ、世界から集まり、挑戦者を応援する東京へ

いつの時代も、新しい何かを生み出すのは挑戦者たちである

芸術、社会活動、探検、スポーツ、学問。あらゆる分野で、創造的破壊によって、社会は前進していく
我々は、全てのジャンルで挑戦者を必要としている
挑戦者が減った社会は、活力が失われた社会だ

ビジネスの挑戦者はスタートアップを立ち上げ、
新しいものの見方・考え方、革新的なテクノロジーやアイデアで新しいサービスを創造し、
社会の課題を解決し、雇用を生み、経済を活性化して世界に貢献する

東京が再び世界の中で輝きを取り戻すために、
我々は挑戦者をたくさん生み出し、応援し、失敗した人をリスペクトし、
そして世界中の人が日本で挑戦したり、東京の挑戦者が世界に羽ばたくのを全力で応援していく

東京を、挑戦者が生まれ、世界から集まり、そして挑戦者を応援する都市へ

Team Tokyo Innovation

Global Innovation with STARTUPS (Nov.2022) より